JUSTIO 複合機

brother

ユーザーズガイド パソコン活用編

FAX-2930

Windows®編

Macintosh®編

本書の使い方・目次

プリンタ

リモートセットアップ

PC-FAXを使用する

付録（索引）

ユーザーズガイド（CD-ROM）
本製品の使い方に加え、パソコンとつないだときの詳しい使い方をすばやく探せます。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド（印刷版）の7章「こんなときは」で調べる P.125

2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録　https://regist.brother.jp/

やりたいことがすぐ探せる！ やりたいこと目次 6P

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』で設置が終了したら、目的に応じてユーザーズガイドを活用してください。ユーザーズガイド（HTML版）の詳しい説明は、「ユーザーズガイド(HTML版)の表示画面と操作」P.2 を参照してください。

冊子

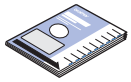
はじめにお読みください

「かんたん設置ガイド」

・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

「ユーザーズガイド」



・ファクスを送る
・コピーする
・日常のお手入れ
・消耗品や部品の交換

使いたい機能をすばやく探せます

HTML（CD-ROM）

「ユーザーズガイド」（HTML版）

以下の内容が含まれています

■「ユーザーズガイド」

・ファクス/プリンタ/コピーの使いかた
・トラブルがおきたときの対処方法
・消耗品の注文

■「パソコン活用ガイド」

・プリンタとして使う
・パソコンからファクスを送信する

サポートサイトからダウンロードしてください

PDF

「ユーザーズガイド」

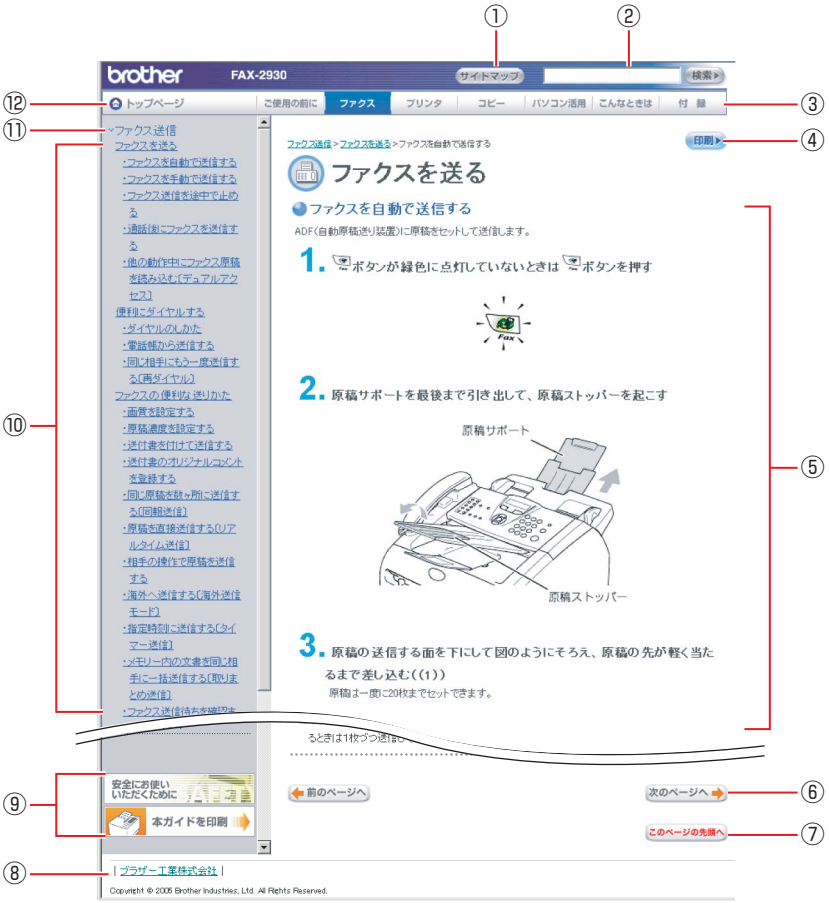
「パソコン活用ガイド」

「かんたん設置ガイド」

ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作

付属のCD-ROMにはユーザーズガイド（HTML版）が収録されており、プリンタなどパソコンと接続して使う機能についても記載しています。以下ではユーザーズガイド（HTML版）の画面と操作を説明しています。
この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	本ガイドの全体構成図を表示します。
③	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／用語集／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：本ガイドを印刷する場合の説明をしています。
④	各機能のページ（章）に移動します。
⑤	やりたいこと目次です。
⑥	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑦	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。



①	本ガイドの全体構成図を表示します。
②	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
③	各機能のページ（章）に移動します。
④	現在のページを印刷します。
⑤	操作内容が表示します。
⑥	次のページに移動します。
⑦	現在のページの最上部に移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑨	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：HTMLマニュアルを印刷するときの説明をしています。
⑩	中見出し・小見出しです。
⑪	大見出しです。
⑫	トップページに移動します。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.XXX	本書内の参照先を記載しています。（XXXはページ）
P. XXX	ユーザーズガイド（印刷版）に記載の参照先を記載しています。（XXXはページ）
	かんたん設置ガイドに記載の参照先を記載しています。

商標について

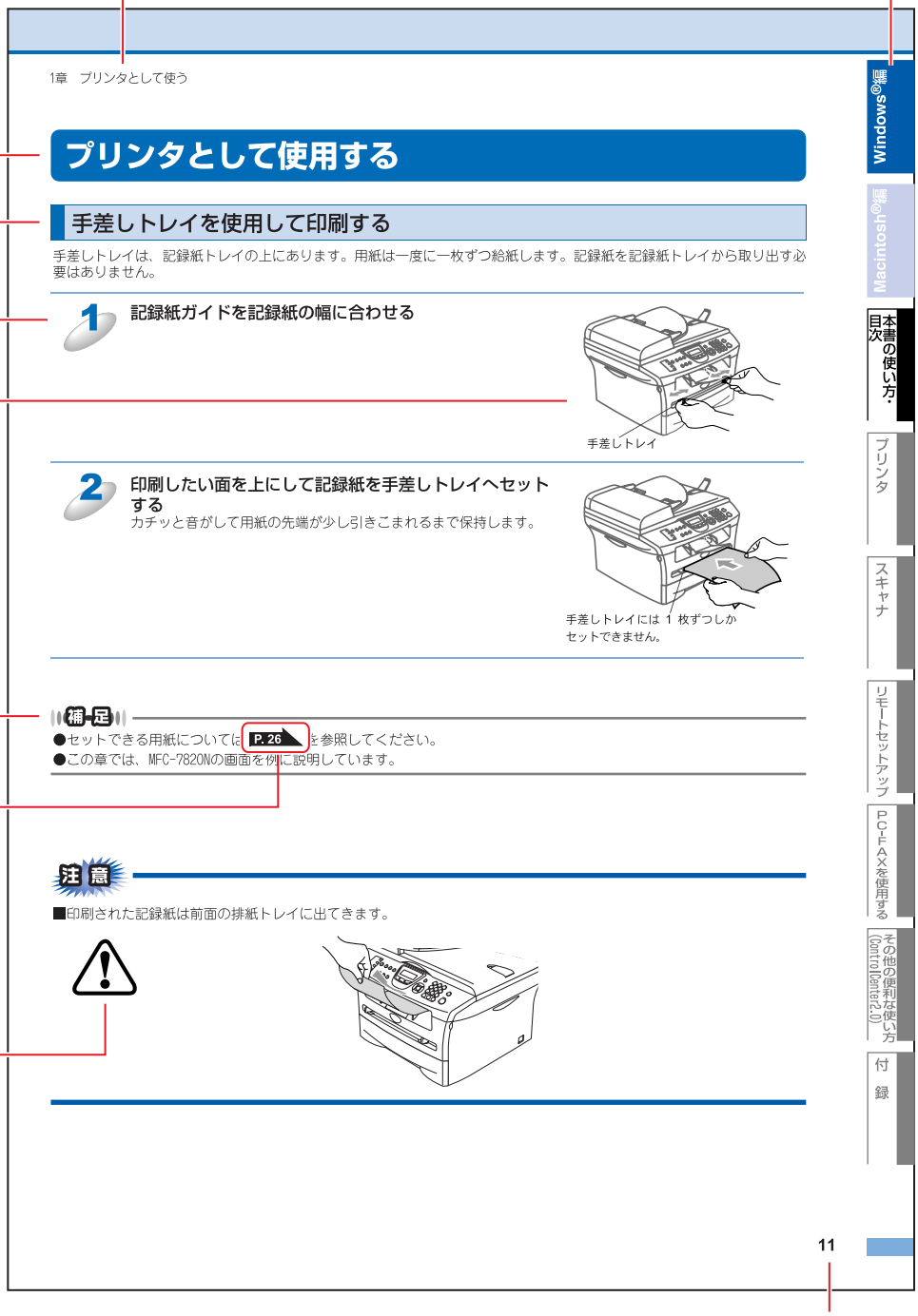
Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。
（本文中ではWindows NT® 4.0と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows Vista®の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
Adobe、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

見出しインデックスです。
現在の章を青色と黒色で示します。

章を示します。



大見出しです。

中見出しです。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

操作や関連する内容の補足説明です。

関連する内容を説明しているページを示します。

ご注意していただく内容です。
特に ⚠ マークのあるものは、記載事項を遵守いただかないと、けがや事故、本機の故障につながる恐れがあります。

ページ番号です。

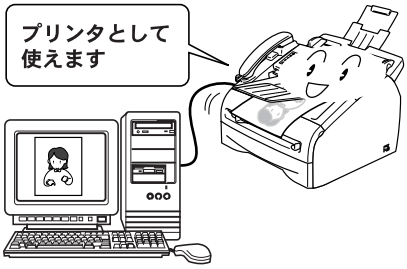
このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

やりたいこと目次

あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

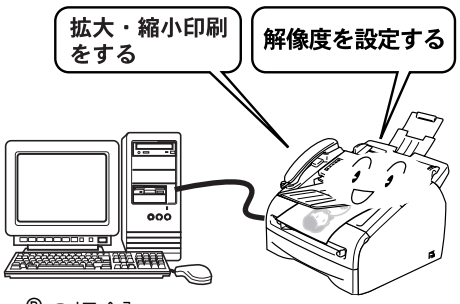
プリンタ

プリンタとして使いたい。



[Windows® の場合]
P.11
[Macintosh® の場合]
P.56

カスタム設定をしたい。

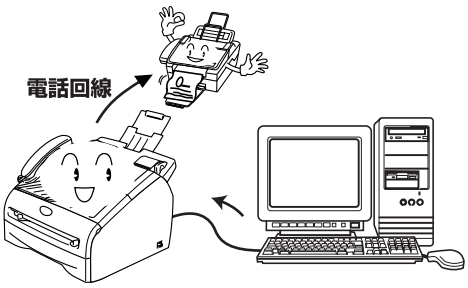


[Windows® の場合]
P.17
[Macintosh® の場合]
P.59

PC-FAX

パソコンからファクスを送りたい。[PC-FAX]

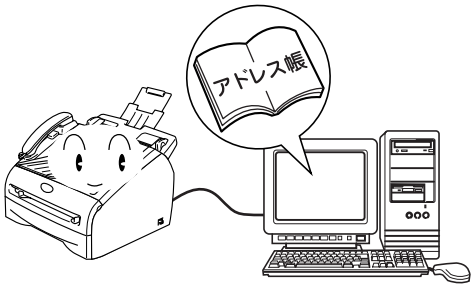
パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。



[Windows® の場合]
P.40
[Macintosh® の場合]
P.68 P.70

アドレス帳を利用したい。[PC-FAX アドレス帳]

PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。（Windows® のみ）



P.45

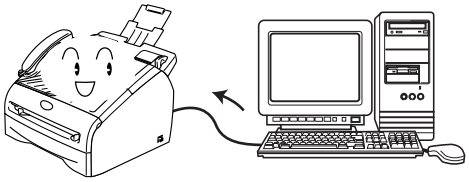
その他

Mac OS® 9.1～9.2をお使いの場合は、この機能は使用できません。

コンピュータから本製品の状態を確認したい。[ステータスモニタ]

[Windows® の場合]
P.30

パソコンから簡単に電話帳の登録などの設定をしたい。[リモートセットアップ]



[Windows® の場合]
P.33
[Macintosh® の場合]
P.63

目　次

ユーザーズガイドの構成 1
HTML マニュアルの表示画面と操作 2
本書の表記 4
マークについて 4
商標について 4
本書の読みかた 5
やりたいこと目次 6
プリンタ 6
PC-FAX 6
その他 7
目次 8

Windows® 編

第 1 章　プリンタとして使う 10
プリンタとして使用する前に 11
ドライバをインストールする 11
プリンタとしての特長 11
印刷する 12
手差しトレイを使用して印刷する 13
プリンタドライバの設定をする 14
ドライバでの設定内容 15
[基本設定] タブでの設定項目 15
[拡張機能] タブでの設定項目 17
[トレイ設定] タブでの設定項目 28
[サポート] タブでの項目 29
印刷状況を確認する（ステータスモニタ） 30
ステータスモニタを起動する 30
本製品の状態を確認する 31
第 2 章　リモートセットアップ 32
リモートセットアップについて 33
リモートセットアップを起動する 33
リモートセットアップ設定内容 34
ボタンの説明 34
設定できる項目 35
電話帳登録をする 37
第 3 章　PC-FAX 39
PC-FAX を使用する前に 40
個人情報を設定する 40
送信の設定 41
ファクスを送信する 42
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する 42
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する 44
アドレス帳を利用する 45
アドレス帳を設定する 45
アドレス帳に相手先を登録する 46
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する 47
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する 48
同報送信用グループダイヤルに送信先メンバーを登録する 49

アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する 50
アドレス帳の相手先またはグループを削除する 51
アドレス帳をエクスポートする 52
アドレス帳にインポートする 53
送付書を作成する 54

Macintosh® 編

第 1 章　プリンタとして使う 55

プリンタとして使用する前に 56
ドライバをインストールする 56
プリンタとしての特長 56
印刷する 57
手差しトレイを使用して印刷する 58

プリンタドライバの設定をする（Mac OS® 9.1 ～ 9.2） 59

プリンタドライバの設定をする（Mac OS® X 10.2.4 以降） 60

第 2 章　リモートセットアップ 62

リモートセットアップについて 63
リモートセットアップを起動する 63

リモートセットアップ設定内容 64
ボタンの説明 64
設定できる項目 65

第 3 章　PC-FAX 67

PC-FAX を使用する 68
Mac OS® 9.1 ～ 9.2 環境上のアプリケーションからファクスを送る 68
Mac OS® X 10.2.4 以降の環境上のアプリケーションからファクスを送る 70

PC-FAX アドレス帳を利用する 71
PC-FAX アドレス帳に相手先を登録する（Mac OS® 9.1 ～ 9.2） 71
グループダイヤルに相手先を登録する（Mac OS® 9.1 ～ 9.2） 72
アドレスブックから送信先を設定する（Mac OS® X 10.2.4 以降） 73

第 4 章　付　録 74

エラーメッセージが表示されたとき 75

故障かな？と思ったときは 75

動作環境 76
Windows® 76
Macintosh® 78

索　引 79

Windows®編

1章

プリンタとして使う

■ プリンタとして使用する前に 11
ドライバをインストールする 11
プリンタとしての特長 11
印刷する 12
手差しトレイを使用して印刷する 13
■ プリンタドライバの設定をする 14
■ ドライバでの設定内容 15
[基本設定]タブでの設定項目 15
[拡張機能]タブでの設定項目 17
[トレイ設定]タブでの設定項目 28
[サポート]タブでの項目 29
■ 印刷状況を確認する（ステータスモニタ） 30
ステータスモニタを起動する 30
本製品の状態を確認する 31

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROMの中には、Windows® 98/98SE/Me/2000/XP/XP x64 Edition、Windows NT® 4.0、Windows Vista®対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Windows®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
パソコンとの接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2　パソコンに接続する」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもパソコンからのデータを印刷することができます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷
1分間に最高20枚の印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 600 × 600dpi 出力
普通紙に600×600dpiの解像度で印刷します。

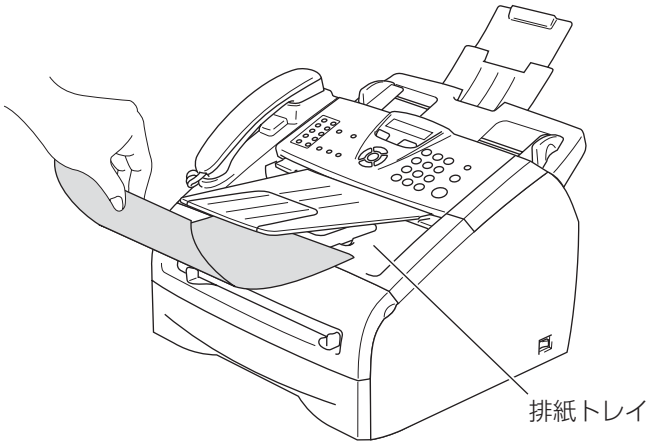
● 双方向パラレルインターフェース（IEEE1284）に対応
本製品のパラレルポートはパソコンとの双方向通信に対応します。

● USB(Universal Serial Bus) に対応
Full-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応
本製品は普通紙やOHPフィルムなどに対応します。

補足

- 解像度などの設定については P.17 を参照してください。
- 記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド（印刷版）P.33 を参照してください。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。



- 本製品がパソコンからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはパソコンの印刷終了後です。また、パソコンから印刷中にファクスを受信すると、パソコンの印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

■ご使用のソフトウェアの種類やパソコンの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。
■用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。
■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

印刷する

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択する

2 [印刷] ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックする

3 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックする

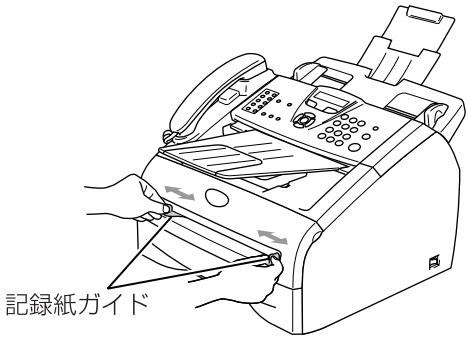
4 [印刷] ダイアログボックスにて [OK] をクリックする

印刷を開始します。

手差しトレイを使用して印刷する

手差しトレイは、記録紙トレイの上にあります。用紙は一度に一枚ずつ給紙します。記録紙を記録紙トレイから取り出す必要はありません。

1 **記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる**



2 **印刷したい面を上にして記録紙を手差しトレイへセットする**

カチッと音がして用紙の先端が少し引きこまれるまで保持します。

3 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する**

4 **［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックする**

5 **用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする**

6 **［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックする**

液晶ディスプレイがオレンジ色に点灯して印刷を開始します。
印刷した記録紙を本製品が排出したら、手順２にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

プリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本製品をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROMに収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

http://solutions.brother.co.jp/

ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のOSにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でパソコンから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択する

2 [印刷] ダイアログボックスの中で本製品のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックする

3 各項目を設定する

- 設定内容の詳細は P.15 を参照してください。

4 [OK] をクリックする

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

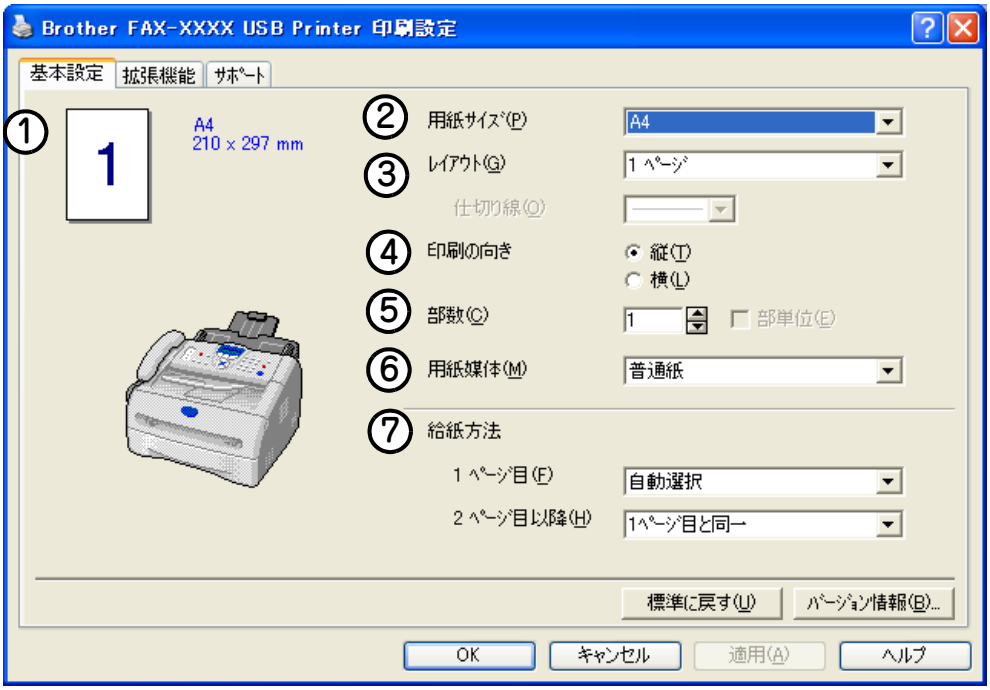
補足

お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順3で[標準に戻す]をクリックしてから[OK]をクリックします。

ドライバでの設定内容

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

[基本設定]タブでの設定項目



設定後[OK]ボタンをクリックして、選択した設定を確定します。
標準設定に戻すときは[標準に戻す]ボタンをクリックします。

①現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

②用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する[用紙サイズ]を選択します。

③レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して1枚のページを複数の用紙に印刷できます。

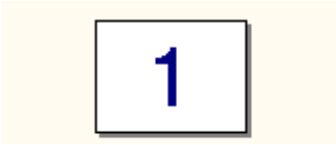
例：４枚を１ページに縮小印刷

例：１枚を４ページに拡大印刷

仕切り線
［レイアウト］機能で複数のページを１枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「————」（実線）、「---------」（破線）、「なし」から選択できます。

④印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

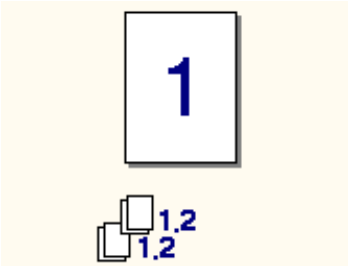
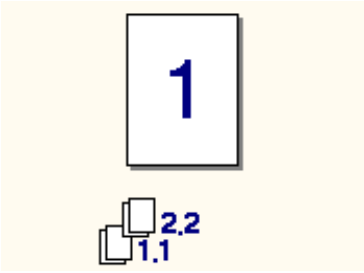
縦選択時	横選択時
	

⑤部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。[部単位]のチェックボックスをチェックすると、文書全体が1部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。[部単位]チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

部単位チェックボックスがチェック	部単位チェックボックスが未チェック
	

⑥用紙媒体

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙（厚め）
- 厚紙
- 超厚紙
- ボンド紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）
- 再生紙

市販されている薄めの普通紙やコピー用紙を使用している場合は、[普通紙]を選択します。

市販されている普通紙やコピー用紙を使用している場合は、[普通紙（厚め）]を選択します。

ラベルなど厚めの用紙を使用している場合は、[厚紙]を選択します。[厚紙]を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、[超厚紙]を選択します。

ボンド紙には、[ボンド紙]を選択し、OHPフィルムには[OHP]を選択します。

封筒には、[封筒]を選択します。[封筒]を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合は、[封筒（厚め）]を選択します。[封筒]を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合は、[封筒（薄め）]を選択します。

再生紙には「再生紙」を選択します。

⑦給紙方法

1ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ1
- 手差し

2ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1ページ目と同一
- トレイ1
- 手差し

[拡張機能]タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

注意

Windows®のプリンタ共有機能を使って印刷する場合、ご使用のOSの種類の組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

● グラフィックス

①解像度

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- 600 dpi
- 300 dpi

②トナー節約モード

[オン]を選択することで、印刷密度を下げて、ランニングコストを抑えることができます。

③印刷設定

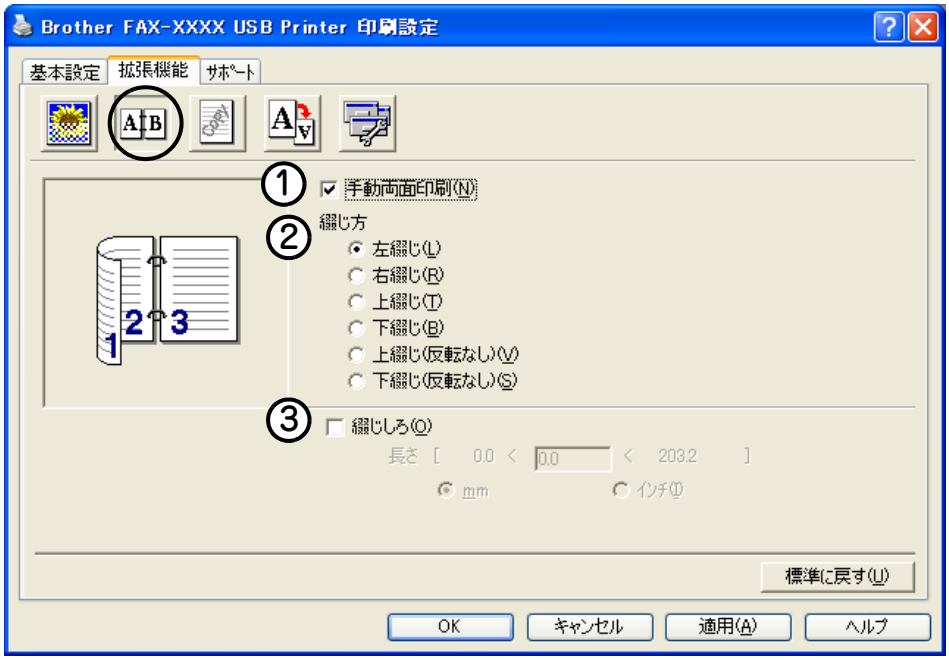
[自動設定]を選択すると、プリンタは自動的に最適の印刷設定で印刷します。
[手動設定]を選択すると、[プリンタのハーフトーンを使う]［システムのハーフトーンを使う］［階調印刷を改善する］[パターン印刷を改善する]オプションを手動で変更できます。
[プリンタのハーフトーンを使う]は、プリンタのハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。
[システムのハーフトーンを使う]は、Windows®システムの持つハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。
[階調印刷を改善する]は、階調部分がきれいに印刷できないときに選択します。

(Windows® 98/98SE/Me)

[自動設定]を選択すると、プリンタは自動的に最適の印刷設定で印刷します。
[手動設定]を選択すると、[明るさ]、[コントラスト]、[ディザリング]オプションを手動で変更できます。

● 両面印刷

手動両面印刷の設定ができ、6種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。

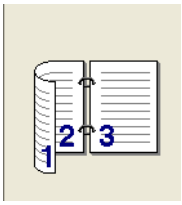
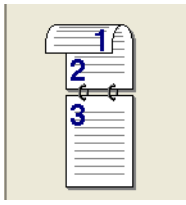
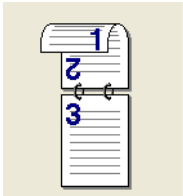
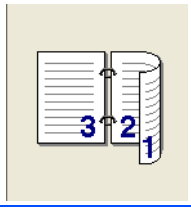
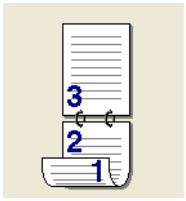
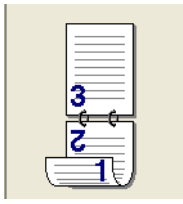


①手動両面印刷

チェックボックスをチェックすると、はじめに偶数番号のページ（裏面）を印刷します。その後、プリンタがいったん停止し、偶数ページ（裏面）が印刷された用紙の再セットを促す指示メッセージが表示されます。メッセージの指示にしたがって用紙を再セットし、[OK]ボタンをクリックすると、奇数番号のページ（表面）の印刷を開始します。

②綴じ方

印刷の向き、縦または横など6種類の綴じ方から選択します。

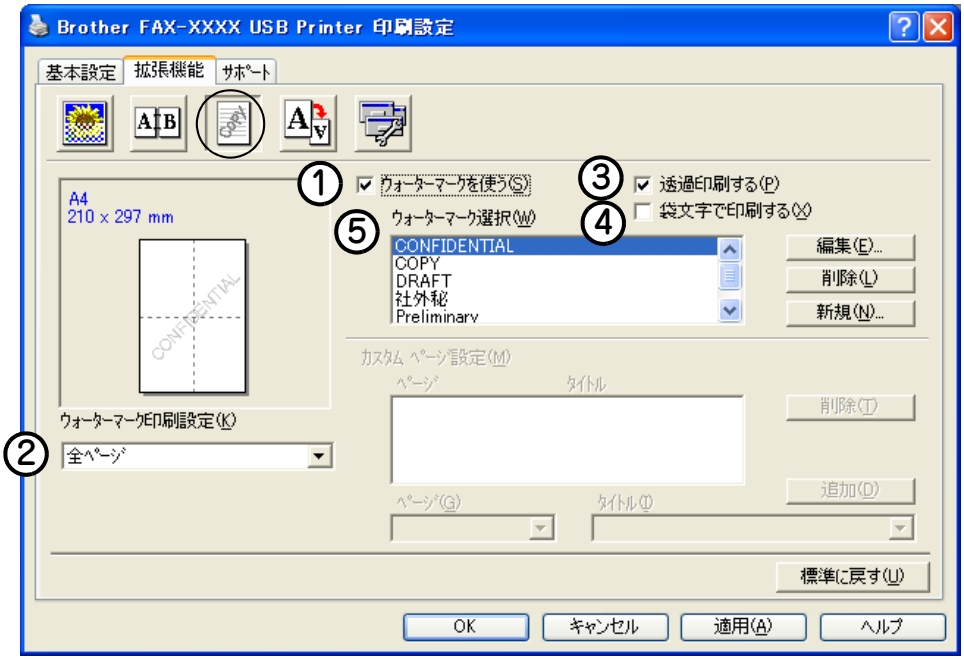
左綴じ	上綴じ	上綴じ（反転なし）
		
右綴じ	**下綴じ**	**下綴じ（反転なし）**
		

③綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側の量をインチ（0～8インチ）またはミリメートル（0～203.2mm）で設定できます。

● ウォーターマーク

ロゴや本文をウォーターマーク（透かし絵）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。
[ウォーターマークを使う]をチェックして、使いたいウォーターマークを選択してください。



①ウォーターマークを使う

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークの選択ができます。

②ウォーターマーク印刷設定

以下に示す選択項目があります。

- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2ページ目から
- カスタム

③透過印刷する

チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書の背景に透かし絵が印刷されます。オフの場合、透かし絵は文書の上部に印刷されます。

④袋文字で印刷する（Windows® 2000/XP/XP x64 Edition、Windows Vista®）

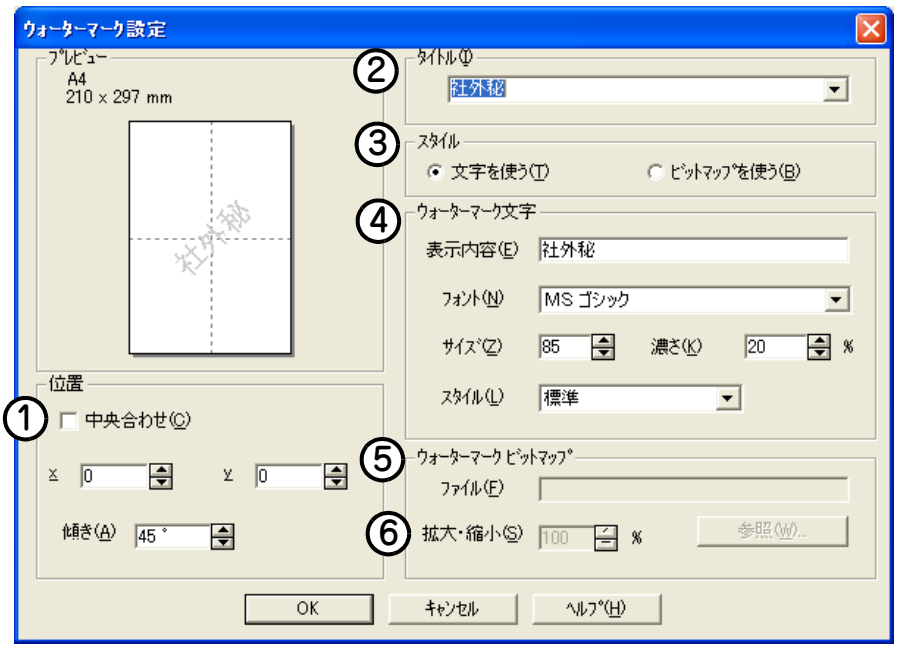
チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークが袋文字で印刷されます。

⑤ウォーターマーク選択

透かし絵を選択して[編集]ボタンをクリックすると、[ウォーターマーク設定]ダイアログボックスが表示され、透かし絵のサイズや位置などを変更できます。

● ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、[編集]ボタンを押すと、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更することができます。新しいウォーターマークを追加したい場合は、[新規]ボタンをクリックし、[スタイル]の[文字を使う]または[ビットマップを使う]を選択します。



①位置

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

②タイトル

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、[ウォーターマーク選択]に表示されます。

③スタイル

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

④ウォーターマーク文字

透かし絵の文字を[表示内容]ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイル、カラーを選択します。

⑤ウォーターマークビットマップ

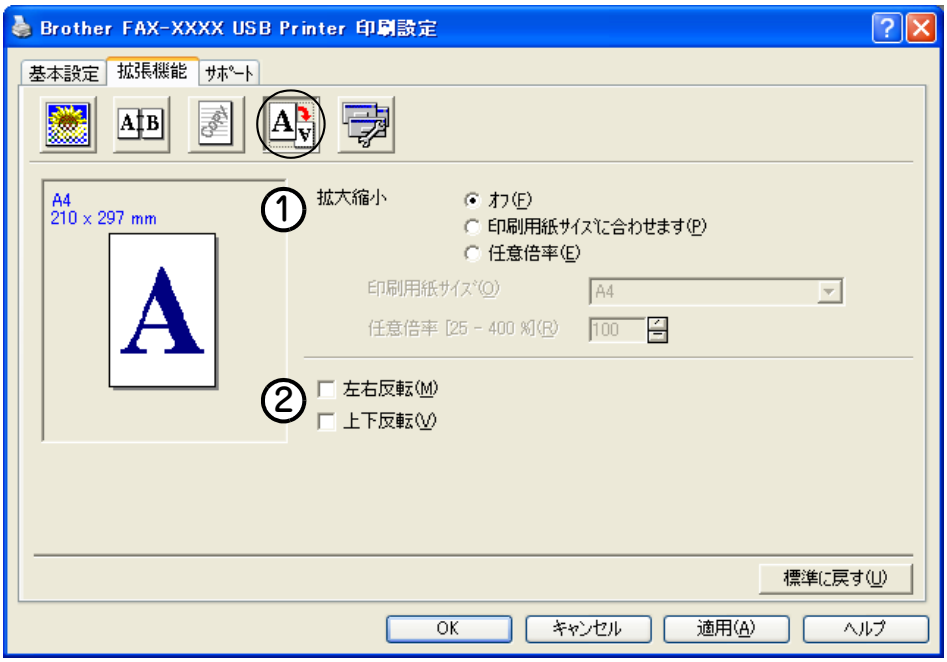
[ファイル]ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、
[参照]ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

● ページ設定

拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。



①拡大・縮小

文書を画面に表示されたとおりに印刷する場合は、[オフ]をチェックします。文書のサイズが特別な場合や、標準サイズの用紙しかない場合は、[印刷用紙サイズに合わせます]をチェックして、用紙サイズを選択します。

印刷出力を拡大や縮小する場合は、[任意倍率]をチェックして、倍率を指定します。

②左右反転 / 上下反転

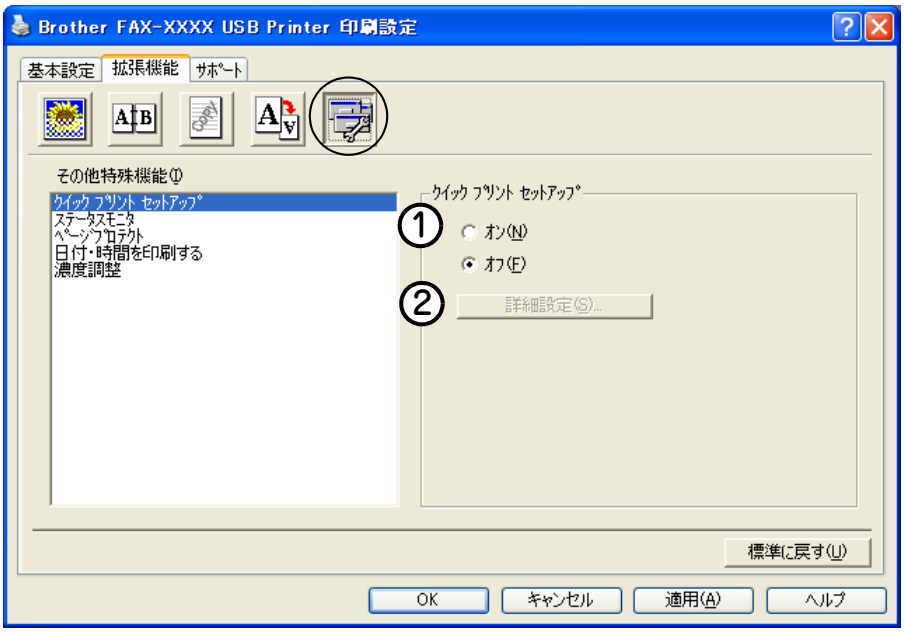
[左右反転]機能や[上下反転]機能をページの設定に使用することもできます。

● その他特殊機能

[その他の特殊機能]で各機能を設定できます。

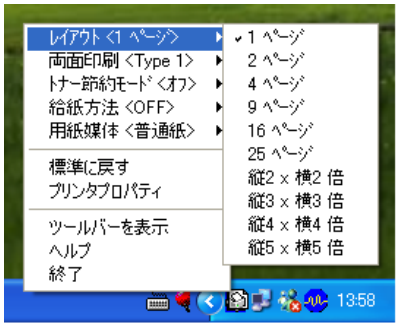
クイックプリントセットアップ

ドライバの設定を素早く選択できます。



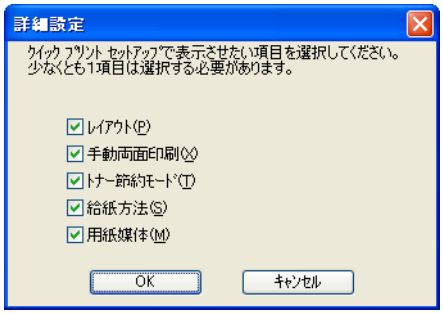
①クイックプリントセットアップ　オン / オフ

クイックプリントセットアップを[オン]にすると、ドライバ設定をすばやく選択することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。



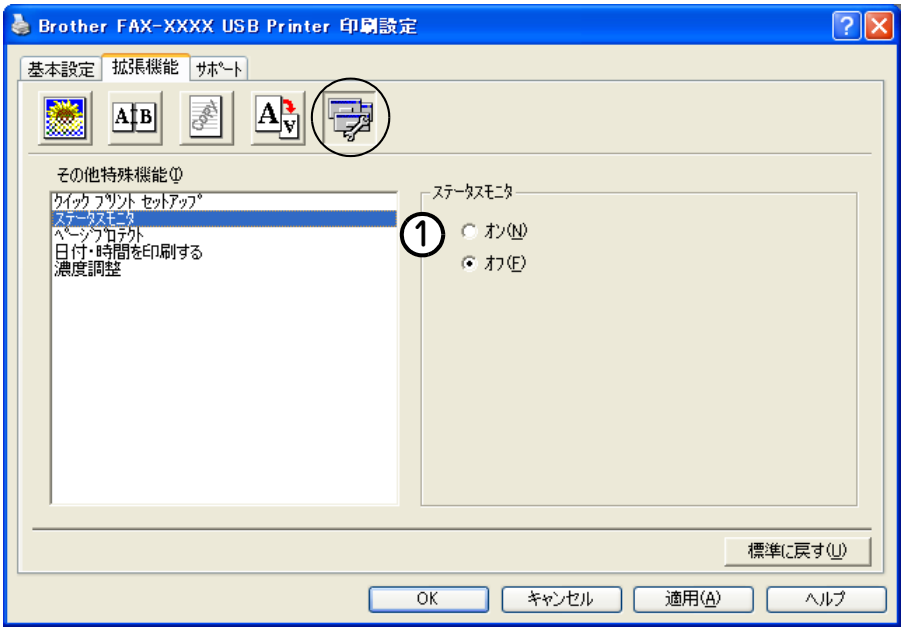
②詳細設定ボタン

設定を表示するには、クイックプリントセットアップを［オン］にして、[詳細設定]ボタンをクリックします。[詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。



ステータスモニタ

印刷時の本製品の状態を確認できます。



①ステータスモニタ　オン / オフ

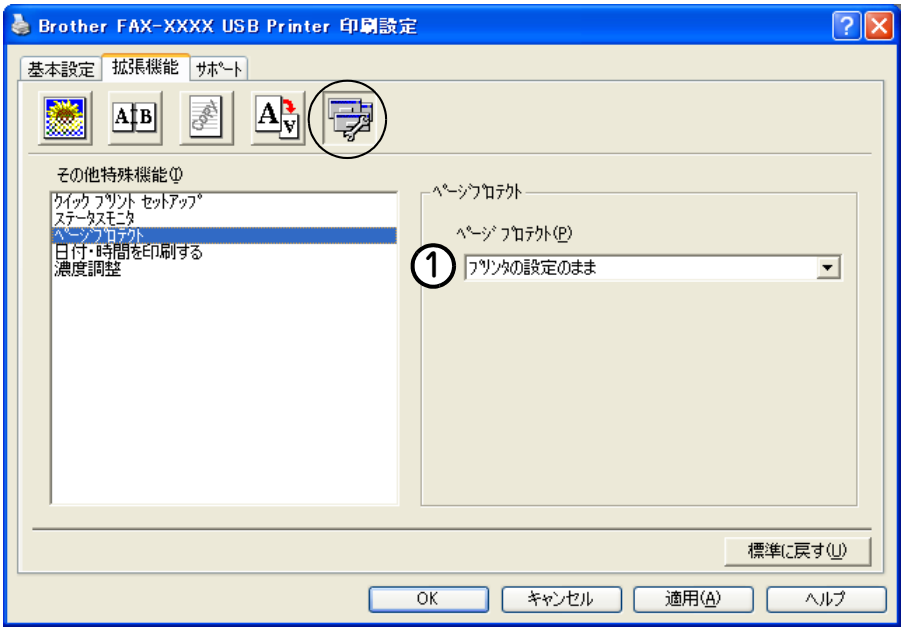
ステータスモニタを[オン]にすると、印刷時の本製品の状態を確認することができます。本製品の状態を確認する必要がなく印刷の速度を上げたい場合は、ステータスモニタを[オフ]にしてください。

補足

ステータスモニタの設定で［パソコン起動時に起動する］がオンになっていないと、ステータスモニタは表示されません。
詳しくは P.30 を参照してください。

ページプロテクト

1ページ分の印刷イメージを作成するのに必要なメモリ量をあらかじめ確保しておくことができます。



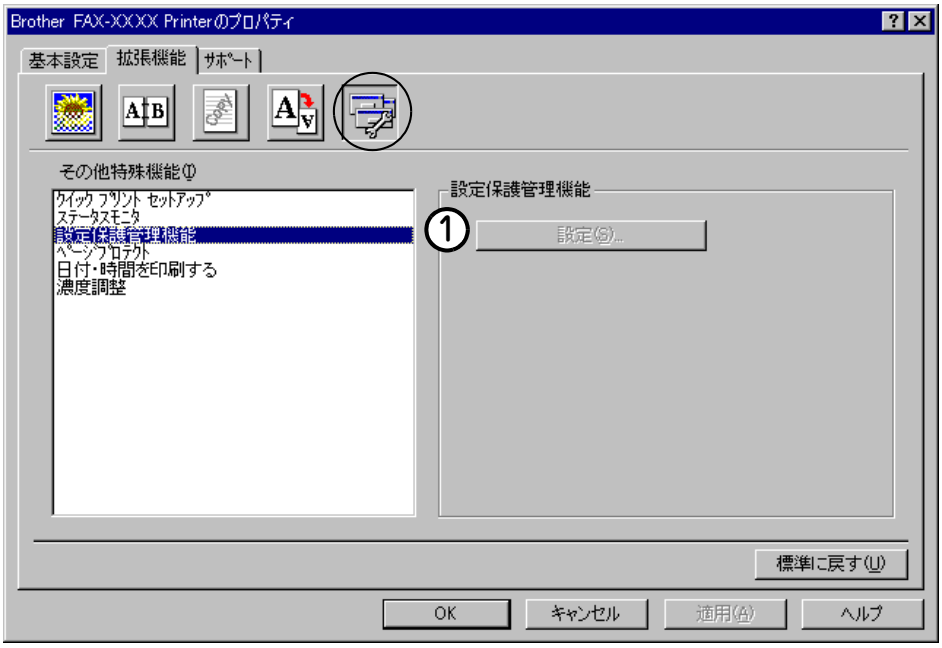
①ページプロテクト

以下に示す選択項目があります。

- 自動
- オフ
- プリンタの設定のまま

設定保護管理機能（Windows® 98/98SE/Me のみ）

パスワードで設定を保護できます。



①設定ボタン

パスワードを設定するには、[設定]ボタンをクリックします。[設定保護管理機能]ダイアログボックスが表示されます。

②部数印刷のロック / レイアウト・拡大縮小のロック / ウォーターマークのロック

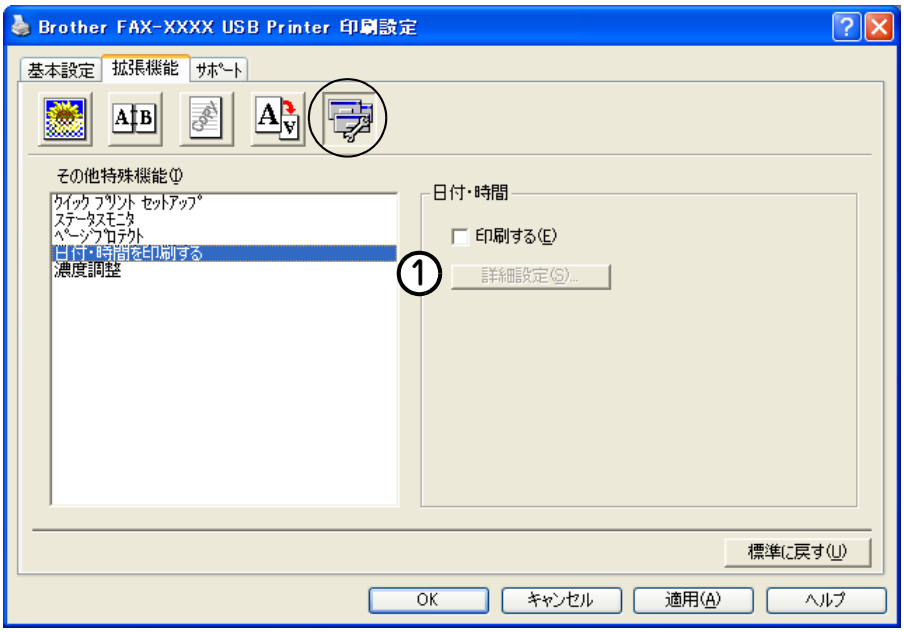
チェックボックスをチェックすると、[部数印刷のロック]、[レイアウト・拡大縮小のロック]、[ウォーターマークのロック]機能をロックしてパスワードで保護することができます。（パスワード設定時のみ）

③パスワードの変更ボタン

パスワードを記録して、後で参照できるように安全な場所に保管します。パスワードを忘れてしまうと、これらの設定にアクセスできなくなります。

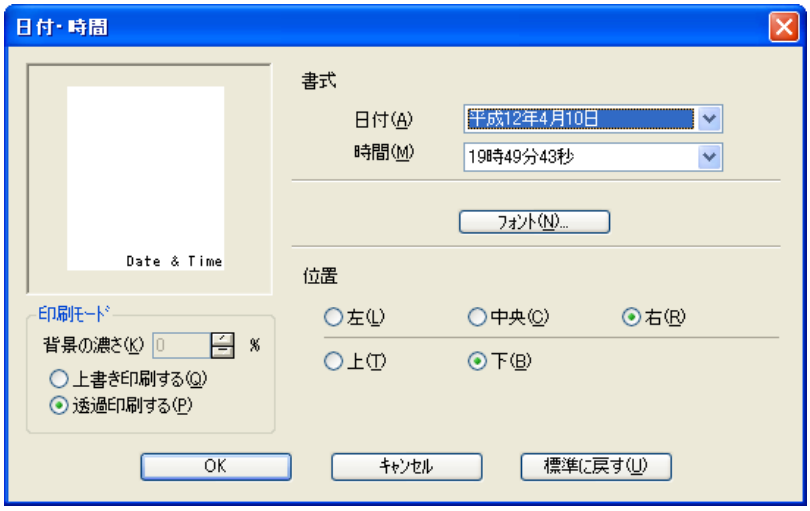
日付・時刻を印刷する

［印刷する］チェックボックスをチェックすると、設定した日付と時刻が文章に印刷されます。



①詳細設定ボタン

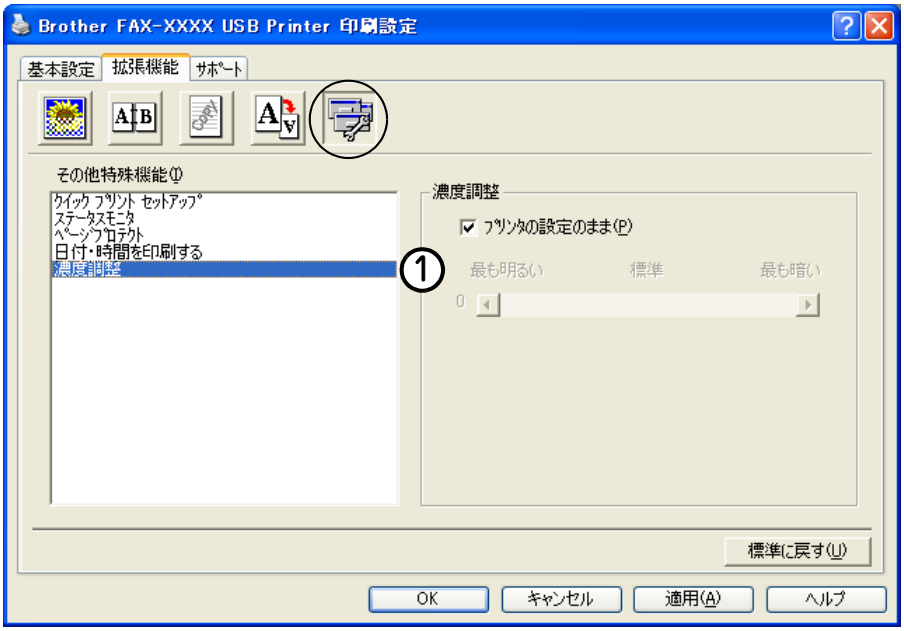
日付と時間の設定をするには、［印刷する］チェックボックスをチェックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。［日付・時間］ダイアログボックスが表示されます。



日付と時間の印刷モード、書式、フォント、位置を設定します。
背景を日付と時間に含めるときは、［上書き印刷する］を選択します。
［上書き印刷する］が選択されると、パーセンテージを変更して日付と時間の［背景の濃さ］を設定できます。

濃度調整

印刷の濃度を濃くしたり薄くしたりします。

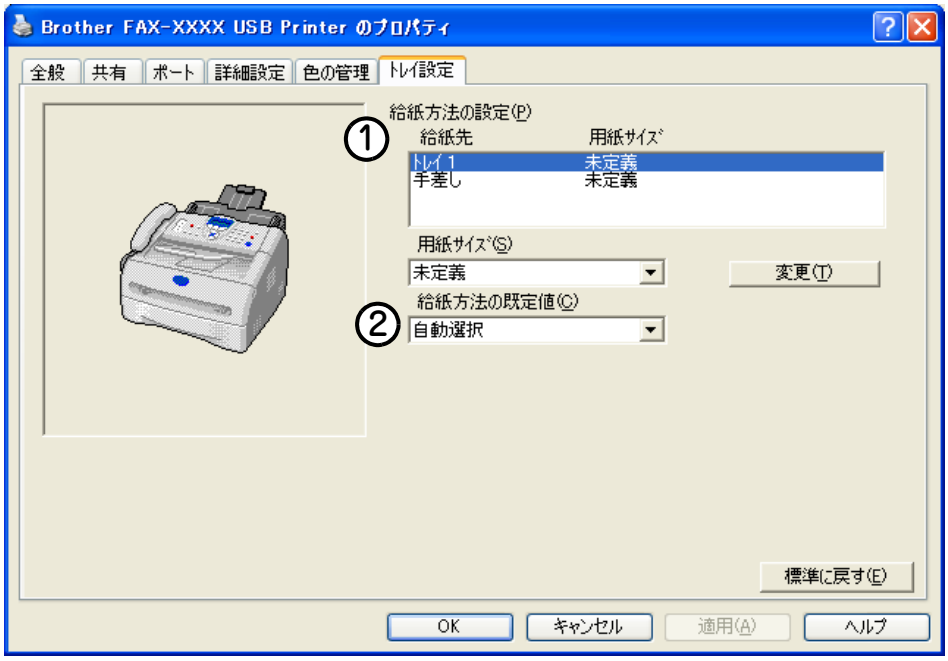


①濃度調整

印刷の濃度を調整する場合は、[プリンタの設定のまま]チェックボックスのチェックを外し、スライドバーで調整します。

[トレイ設定]タブでの設定項目

トレイ設定タブでは、トレイ 1、手差しトレイそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタドライバの機能に反映されます。

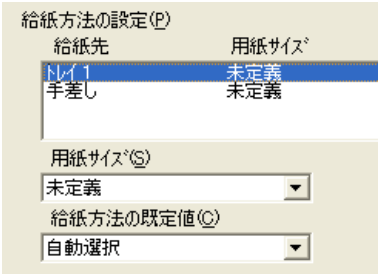


①給紙方法の設定

それぞれの給紙先で使用する用紙サイズを設定します。ここで用紙サイズを設定しておくと、印刷する文書の用紙サイズによって、給紙先を自動的に切り替えます。ただし、この設定を有効にするには基本設定タブの[給紙方法]の設定を[自動選択]にしておく必要があります。

1 [給紙方法の設定] リストから、設定するトレイを選択する

2 [用紙サイズ] プルダウンリストから、使用する用紙のサイズを選択する



3 [変更] ボタンをクリックする

使用する用紙トレイや用紙サイズをお買い上げ時の設定に戻すときは、[標準に戻す]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックしてください。

②給紙方法の既定値

印刷したい文書の用紙サイズが、①給紙方法の設定での用紙サイズ設定に合わない場合に使用される給紙先が選択できます。

[サポート]タブでの項目

ドライババージョンと設定情報が示されています。また、[Brother Solutions Center]のリンクもあります。
サポートタブをクリックすると、次の画面が表示されます。

① Brother Solutions Center

FAQ（よくある質問）、ユーザー向けガイド、ドライバー更新、機器の使用上のヒントなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。

②設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

印刷状況を確認する（ステータスモニタ）

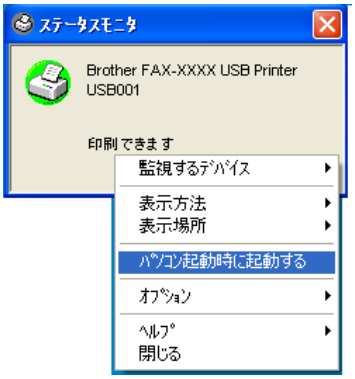
ご使用のパソコンからステータスモニタで本製品の印刷状況や記録紙の有無などを確認できます。

ステータスモニタを起動する

1 **［スタート］メニューの［すべてのプログラム］-［Brother］-［(モデル名)］-［ステータスモニタ］の順に選択する**

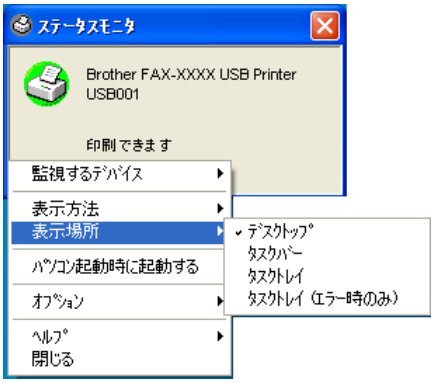
ステータスモニタウインドウが表示されます。

2 **ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューから［パソコン起動時に起動する］をクリックしてチェックする**



3 **ステータスモニタウインドウ上で右クリックし、メニューから［表示場所］を選択してチェックする**

ステータスモニタアイコンが選択した表示場所に表示されます。



補足

- ステータスモニタアイコンを右クリックしても手順②～③の操作が可能です。
- ［パソコン起動時に起動する］のチェックをはずすと、プリンタドライバの「拡張機能」タブでステータスモニタがオンになっていてもステータスモニタは表示されません。

本製品の状態を確認する

ステータスモニタアイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

● **緑色のアイコン**

本製品は正常に動作しています。

● **黄色のアイコン**

本製品は警告状態です。

● **赤色のアイコン**

本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題が解決しないときは、ユーザーズガイド（印刷版）P.143 を参照してください。

Windows®編

2章

リモートセットアップ

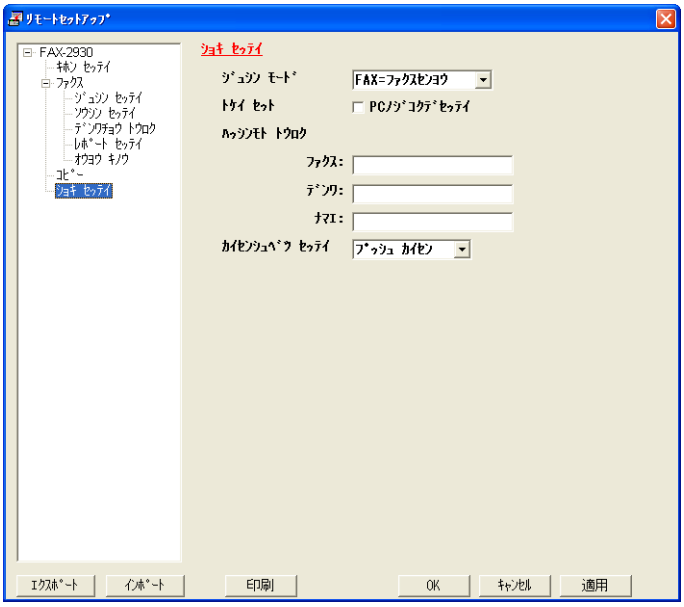
■ リモートセットアップについて 33
リモートセットアップを起動する 33
■ リモートセットアップ設定内容 34
ボタンの説明 34
設定できる項目 35
電話帳登録をする 37

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をパソコンで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム(プログラム)]－[Brother]－[モデル名]－[リモートセットアップ]の順に選択します。



リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧 のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.162 を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にパソコンにダウンロードされ、画面上に表示されます。

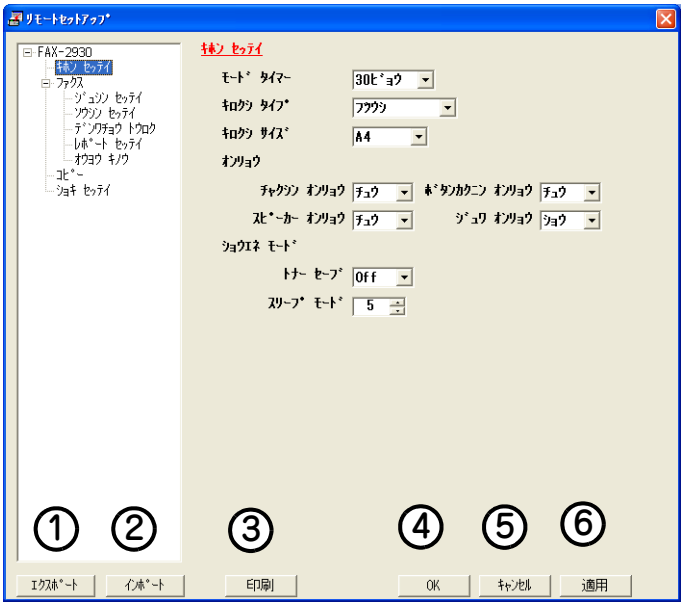
補足

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのパソコンに Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2　パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- PC-FAXソフトウェアが起動しているとリモートセットアップは使用できません。
- ウィルスバスターなどのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「設定内容リスト」が印刷できます。（◇ユーザーズガイド（印刷版）P.114と同じリストが印刷できます）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、[適用]をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷]をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK]をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	–	○
	トケイ　セット	–	○
	ハッシンモト　トウロク	ファクス／デンワ／ナマエ	○
	カイセンシュベツ　セッテイ	–	○
	ダイヤルトーン　セッテイ	–	×
	トクベツカイセン　タイオウ	–	×
	ナンバー　ディスプレイ	–	×
	コジンジョウホウ　ショウキョ	–	×
	キノウセッテイ　リセット	–	×
	ヒョウジ　ゲンゴ	–	×
キホン　セッテイ	モード　タイマー	–	○
	キロクシ　タイプ	–	○
	キロクシ　サイズ	–	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ ボタンカクニン　オンリョウ スピーカー　オンリョウ ジュワ　オンリョウ	○ ○ ○ ○
	ショウエネ　モード	トナー　セツヤク スリープ　モード	○ ○
	ガメンノ　コントラスト	–	×
	セキュリティ	セキュリティソウサロック セキュリティセッテイロック	× ×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ サイヨビダシ　カイスウ シンセツ　ジュシン リモート　ジュシン ジドウ　シュクショウ インサツ　ノウド ポーリング　ジュシン	○ ○ ○ ○ ○ ○ ×

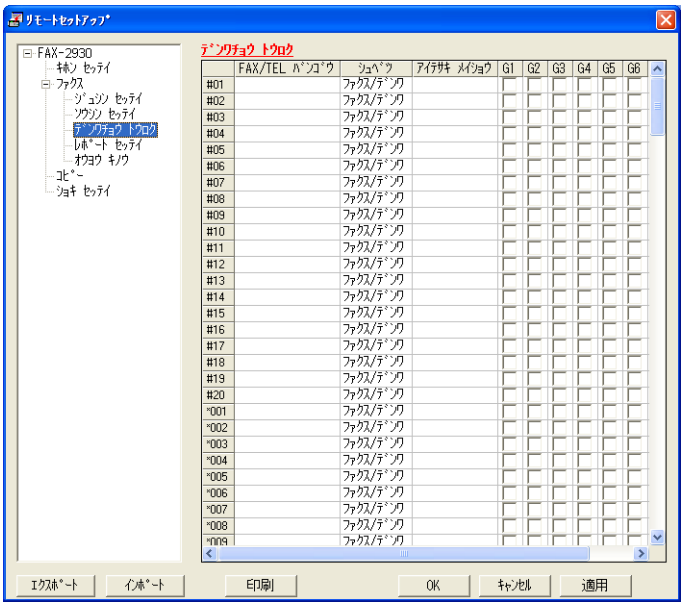
分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ／ワンタッチ	○
		デンワチョウ／タンシュク	○
		デンワチョウ／グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウメモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ダイヤルセイゲン　キノウ	チョクセツ　ニュウリョク	○
		ワンタッチダイヤル	○
		タンシュクダイヤル	○
	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	コントラスト	－	○
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	－	×
	キノウアンナイ	－	×
	デンワチョウ　リスト	－	×
	ツウシン　カンリ　レポート	－	×
	セッテイナイヨウ　リスト	－	×
	チャクシンリレキ　リスト	－	×
	ゴチュウモン　シート	－	×
セイヒン　ジョウホウ	シリアル　No.	－	×
	インサツマイスウ　ヒョウジ	－	×
	ドラム　ジュミョウ	－	×

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド（印刷版）P.162 を参照してください。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「デンワチョウ　トウロク」をクリックすると、次の画面が表示されます。



この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。
- ワンタッチダイヤル：最大20件（01～20）
- 短縮ダイヤル：最大200件（001～200）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は15桁まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、3桁の短縮番号（最大200件）に登録します。

1 左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ

2 登録する短縮番号の行にある「FAX/TEL バンゴウ」に電話またはファクス番号を入力する

3 種別で「ファクス / デンワ」を選ぶ

4 「アイテサキ　メイショウ」に相手先の名前を入力する

5 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

6 [OK] をクリックする

- 設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは8つまで登録できます。

1 **左側から「デンワチョウ　トウロク」を選ぶ**

電話帳登録の画面が表示されます。

2 **種別でグループを選ぶ**

グループ番号は「1～8」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。

3 **「アイテサキ　メイショウ」にグループ名を入力する**

4 **グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスをONにする**

例）グループ2に登録する場合は、「G2」をONにします。

5 **［適用］をクリックする**

グループダイヤルが登録されます。

Windows®編

3章

PC-FAX

■ PC-FAXを使用する前に 40
個人情報を設定する 40
送信の設定 41
■ ファクスを送信する 42
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する 42
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する 44
■ アドレス帳を利用する 45
アドレス帳を設定する 45
アドレス帳に相手先を登録する 46
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する 47
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する 48
同報送信用グループダイヤルに送信先メンバーを登録する 49
アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する 50
アドレス帳の相手先またはグループを削除する 51
アドレス帳をエクスポートする 52
アドレス帳にインポートする 53
送付書を作成する 54

PC-FAXを使用する前に

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。
また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PC-FAX のアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P.46 を参照してください。
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P.41 を参照してください。

補足

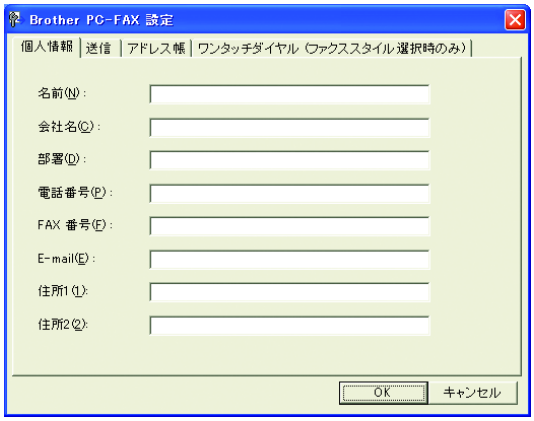
- PC-FAXは、モノクロのみ対応しています。
- 送信を行う前に個人情報、アドレス帳を設定しておくと便利です。
- Windows® 2000/XP/XP x64 Edition、Windows Vista®をお使いの方はアドミニストレータ（Administrator）権限で使用してください。

個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、[Brother PC-FAX設定]ダイアログボックスの[個人情報]タブで行います。

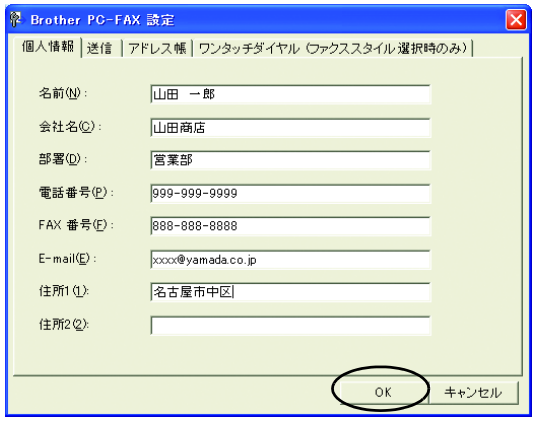
1 **[スタート] メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 設定] の順に選択する**

2 **個人情報を入力する**



3 **[OK] をクリックする**

個人情報が保存されます。



送信の設定

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、[Brother PC-FAX 設定]ダイアログボックスの[送信]タブで行います。

①ダイヤル設定

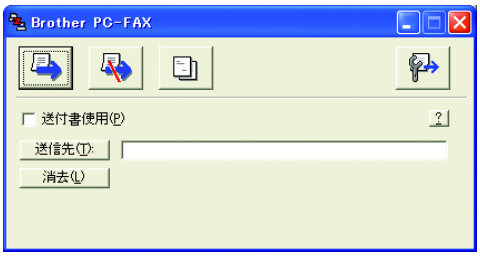
外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX電話システムで必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

②ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このチェックボックスをチェックします。

③送信操作画面

[シンプルスタイル]か[ファクススタイル]のどちらかを選択できます。



<シンプルスタイル>

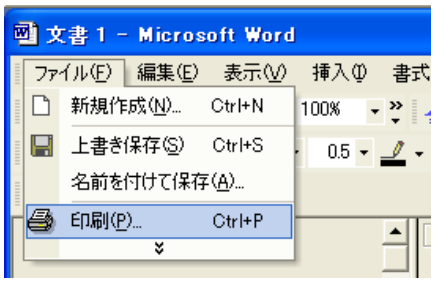
<ファクススタイル>

ファクスを送信する

ファクススタイル画面を使用してファクス送信する

1 パソコン上のアプリケーションでファイルを作成する

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択する



3 プリンタ名の▼から [Brother PC-FAX] を選択して、[OK] をクリックする

4 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力する

- ダイヤルパッドをクリックして番号を入力する。
- 10個のワンタッチダイヤルボタンのいずれかをクリックする。
- [アドレス帳]ボタンをクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。
- OutlookExpressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.45 を参照してください。

5 [送信] をクリックする

ファクス送信が開始されます。

補足

- ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、〔Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [送信] タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。
- ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。

①送付書使用
　ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合にクリックします。

②送付書の作成
　送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。P.54 を参照してください。

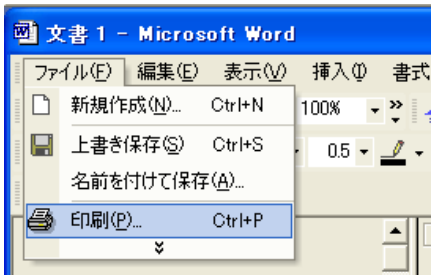
③消去
　ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

④再ダイヤル
　ファクスを再送する場合にクリックします。[再ダイヤル]ボタンを押すたびに最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、〔送信]ボタンをクリックします。

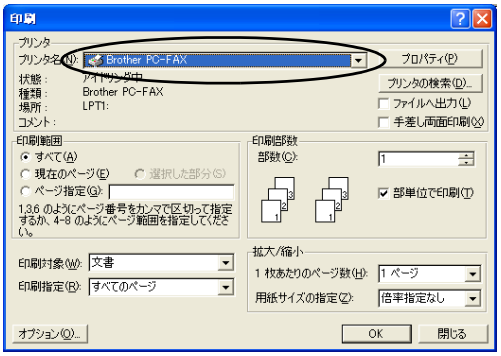
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する

1 パソコン上のアプリケーションでファイルを作成する

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択する

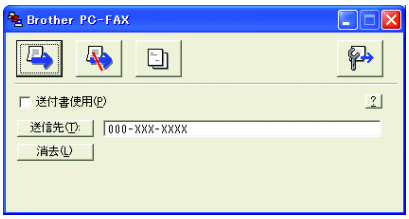


3 プリンタ名の▼から [Brother PC-FAX] を選択して、[OK] をクリックする



4 [送信先] に、相手のファクス番号を入力する

- 相手のファクス番号は、[送信先]ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- OutlookExpressのアドレス帳のデータを利用することもできます。P.45 を参照してください。



5 送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、[送付書使用] の設定を選択する

送付書の作成については P.54 を参照してください。

6 をクリックする

ファクス送信が開始されます。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [送信] タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- 相手のファクス番号は、[送信先]ボタンをクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- ファクス番号を間違って入力したときには、[消去]ボタンをクリックします。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。

アドレス帳を利用する

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPC-FAXアドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

補足

「Brother PC-FAXアドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。P.46 を参照してください。

設定は、[Brother PC-FAX設定]ダイアログボックスの[個人情報]タブで行います。

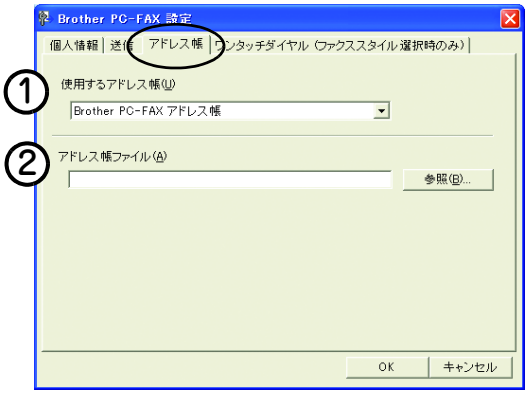
1 **[スタート] メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 設定] の順に選択する**

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 **[アドレス帳] タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする**

①使用するアドレス帳
送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「BrotherPC-FAX アドレス帳」を選びますが、OutlookExpress のアドレス帳を利用する場合は、「OutlookExpress アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル
ファイルのパスと名前を入力するか、[参照] をクリックしてファイルを選びます。



3 **[OK] をクリックする**

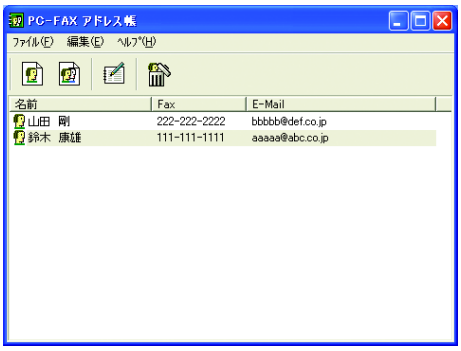
PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

アドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、[PC-FAXアドレス帳]ダイアログボックスで行います。

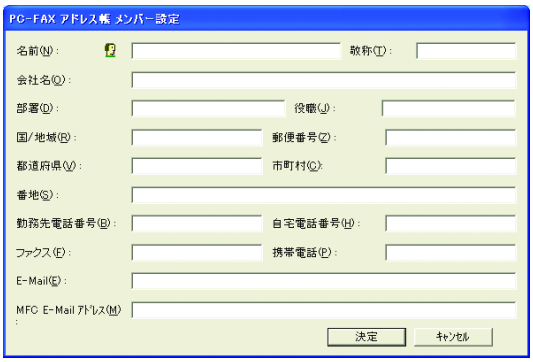
1 **[スタート] メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX アドレス帳] の順に選択する**

右の画面が表示されます。



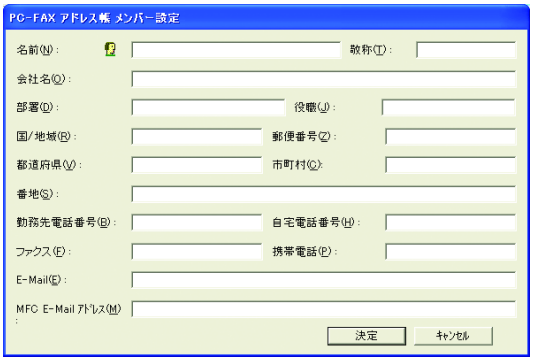
2 **をクリックする**

右の画面が表示されます。



3 **メンバーの情報を入力する**

[名前] の入力は必須です。



4 **[決定] をクリックする**

メンバーの情報が保存されます。

補足

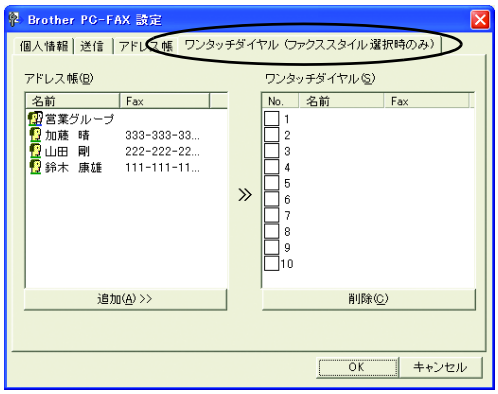
- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、[PC-FAXアドレス帳]ダイアログボックスで行います。
- アドレス帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

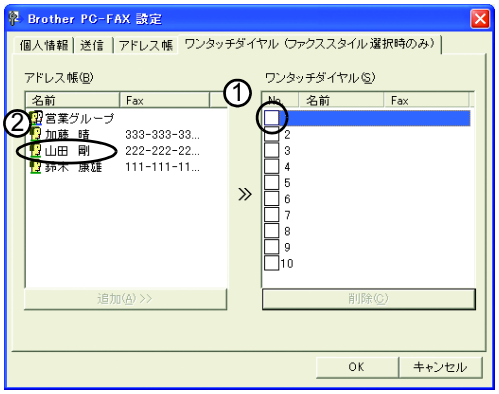
メンバーまたはグループを10個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。
登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1から10のいずれか）を押すだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

1 **[スタート] メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 設定] の順に選択する**

2 **[Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [ワンタッチダイヤル] タブをクリックする**



3 **[ワンタッチダイヤル] ボックスの番号をクリックする（①）**
続けて、[アドレス帳] ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックする（②）



4 **[追加 (A)>>] をクリックする**
登録したいワンタッチダイヤルについて、手順３、４の操作を繰り返します。

5 **[OK] をクリックする**
ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

1 ［ワンタッチダイヤル］ボックスから、削除する相手先またはグループをクリックする

2 ［削除］をクリックする

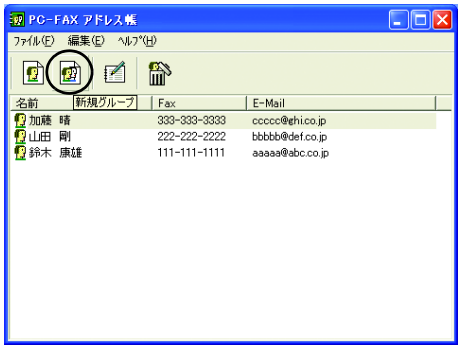
補足

ワンタッチダイヤルを使用するには、〔送信〕ダブの〔送信操作画面〕で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

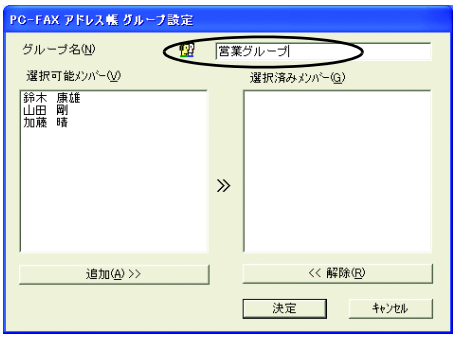
同報送信用グループダイヤルに送信先メンバーを登録する

同一の原稿を複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数のメンバーをグループにまとめることができます。

1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、 をクリックする

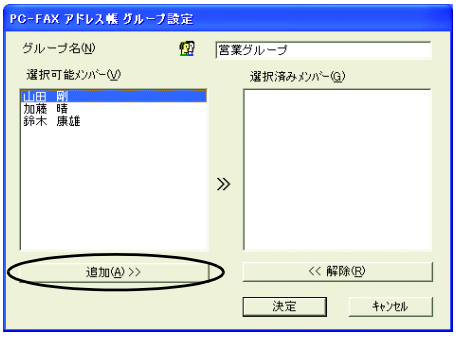


2 [グループ名] にグループ名を入力する



3 [選択可能メンバー] ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、[追加 (A)>>] をクリックする

追加したメンバーは、[選択済みメンバー] ボックスに一覧表示されます。



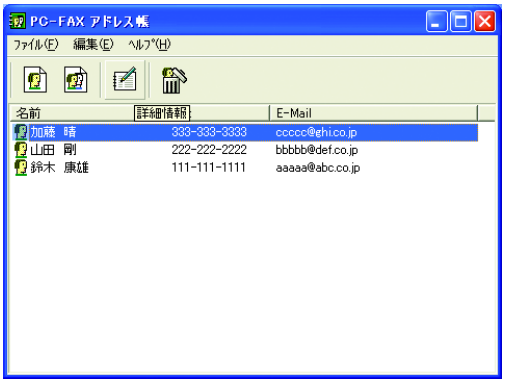
4 メンバーの追加後、[決定] をクリックする

補足

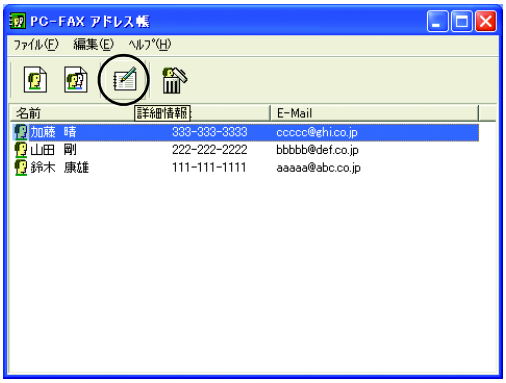
- 1 つのグループダイヤルに最大 50 件までメンバーを登録できます。 また、グループダイヤルは最大 256 個まで登録できます。
- 同報送信は、1回の操作で1つのグループダイヤルのみ選択することができます。

アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

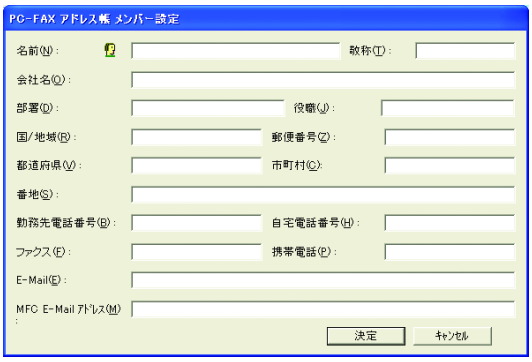
1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、編集する相手先またはグループを選択する



2 をクリックする



3 相手先またはグループ情報を編集する

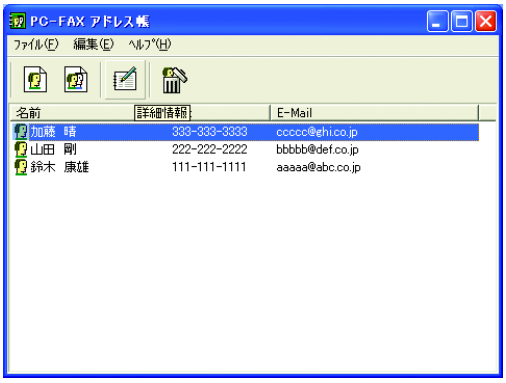


4 [決定] をクリックする

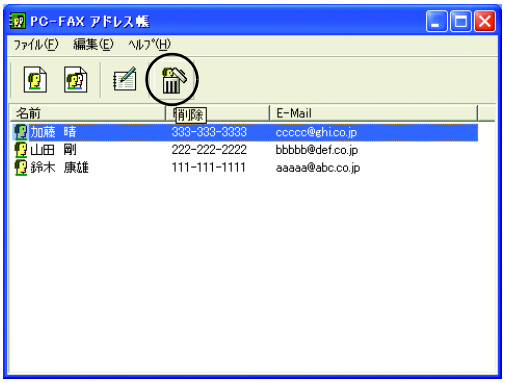
変更した相手先またはグループ情報が保存されます。

アドレス帳の相手先またはグループを削除する

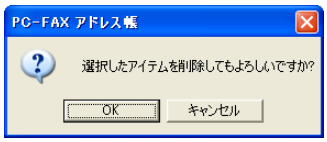
1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、削除する相手先またはグループを選択する



2 をクリックする



3 [OK] をクリックする



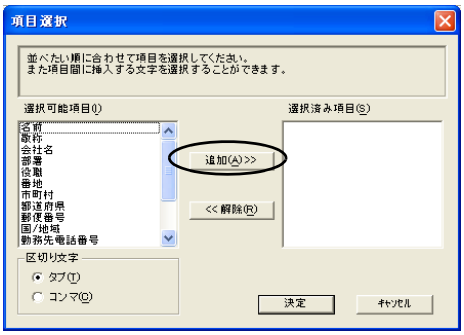
アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV 形式のファイルにエクスポートすることができます。また、選択されたメンバーの vCard（電子名刺）を作成し、送信者のすべての送信電子メールに添付することもできます。

1 **[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、[ファイル] - [エクスポート] - [Text] の順にクリックする**

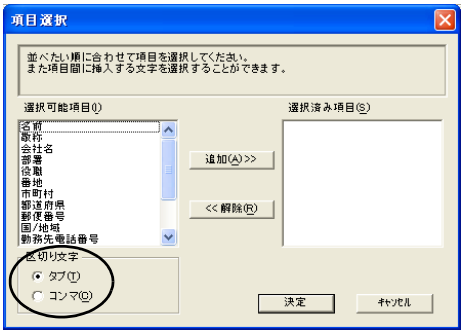
[vCard] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

2 **エクスポートする項目を選んで、[追加 >>] をクリックする**



3 **[区切り文字] で [タブ] または [コンマ] を選択する**

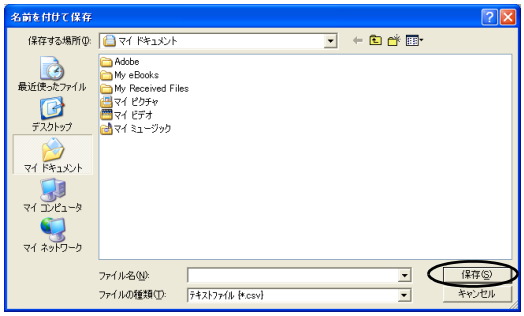
この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。



4 **[決定] をクリックする**

データがエクスポートされます。

5 **ファイル名を入力してから、[保存] をクリックする**



補足

- アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- 手順1で[vCard]を選択した場合は手順5に進み、[ファイルの種類]は[vCard(＊.vcf)]になります。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。
- vCard（電子名刺）には、送信者の連絡先情報が格納されています。
- vCardを作成する場合、メンバーを最初に選択しなければなりません。

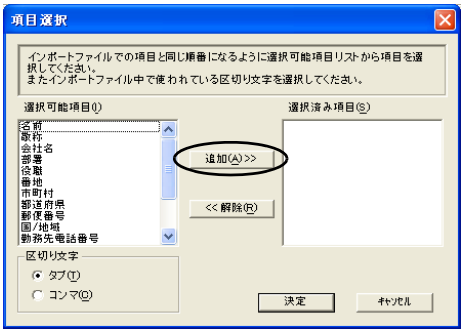
アドレス帳にインポートする

CSV形式のファイルまたはvcf形式のファイル（vCards：電子名刺）を、アドレス帳にインポートできます。

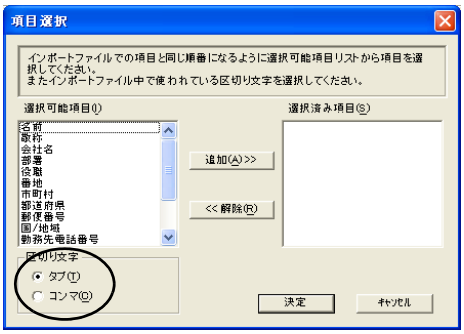
1 **PC-FAX アドレス帳の画面で、[ファイル] - [インポート] - [Text] の順にクリックする**

[vCard] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

2 **[選択可能項目] 欄からインポートする項目を選択してから、[追加 >>] をクリックする**



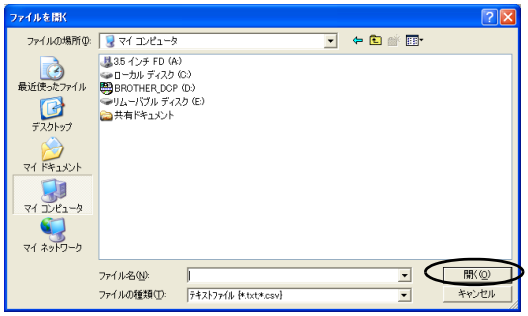
3 **インポートするファイル形式により、[区切り文字] で [タブ] または [コンマ] を選択する**



4 **[決定] をクリックする**

データがインポートされます。

5 **ファイル名を入力して、[開く] をクリックする**



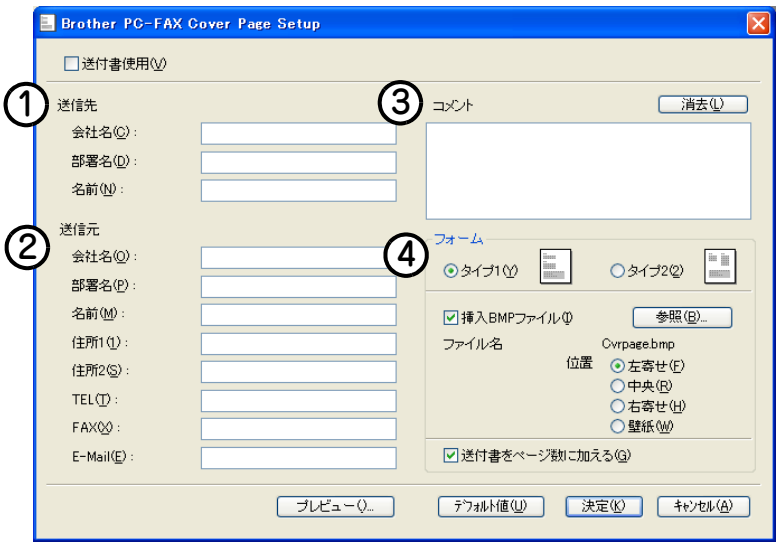
補足

- 手順1で[vCard]を選択した場合は手順5に進み、[ファイルの種類]は[vCard(＊.vcf)]になります。
- インポートする項目を選択する場合は、元のファイル項目の並び順に合わせて選択してください。

送付書を作成する

ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で をクリックすると、以下の画面が表示されます。

<シンプルスタイル>　　<ファクススタイル>



①送信先

送信先の情報を入力します。

②送信元

送信元の情報を入力します。

③コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④フォーム

送付書のスタイルを選択します。

挿入 BMP ファイル

会社のロゴなどのビットマップファイルを送付書に挿入する場合にチェックします。
[参照]ボタンをクリックしてBMPファイルを選択してから、ビットマップファイルの配置を選択します。

送付書をページ数に加える

チェックボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

Macintosh®編

1章

プリンタとして使う

■ プリンタとして使用する前に 56
ドライバをインストールする 56
プリンタとしての特長 56
印刷する 57
手差しトレイを使用して印刷する 58
■ プリンタドライバの設定をする（Mac OS® 9.1～9.2）..... 59
■ プリンタドライバの設定をする（Mac OS® X 10.2.4以降）..... 60

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本製品をプリンタとして使用するには、付属のCD-ROMの中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROMの中には、Apple社製Macintosh®のUSBポート搭載機で、Mac OS® 9.1～9.2、Mac OS® X 10.2.4以降に対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Mac OS®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
Macintosh®との接続やドライバのインストール方法については、かんたん設置ガイド「STEP2　パソコンに接続する」を参照してください。

プリンタとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもMacintosh® からのデータを印刷することができます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1分間に最高20枚の印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● 600 × 600dpi 出力

普通紙に600×600dpiの解像度で印刷します。

● USB(Universal Serial Bus) に対応

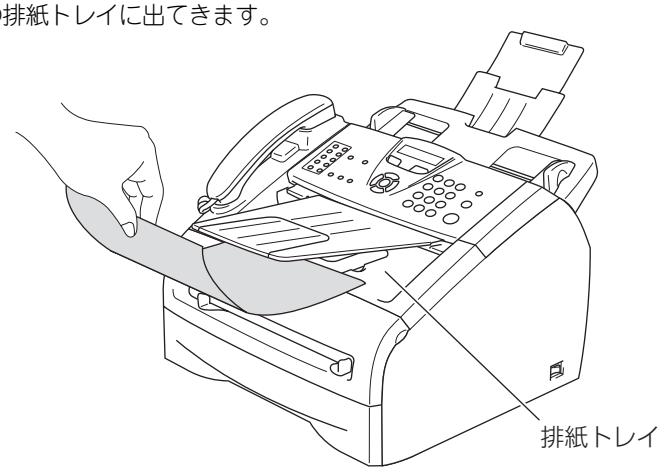
Full-Speed USB 2.0に対応します。

● 多彩な記録紙対応

本製品は普通紙やOHPフィルムなどに対応します。

補足

- 解像度などの設定については P.59 を参照してください。
- 記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド（印刷版）P.33 を参照してください。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。



- 本製品が Macintosh® からのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのは Macintosh® の印刷終了後です。また、Macintosh® から印刷中にファクスを受信すると、Macintosh® の印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

■ご使用のソフトウェアの種類やMacintosh®の環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。
■用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。
■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

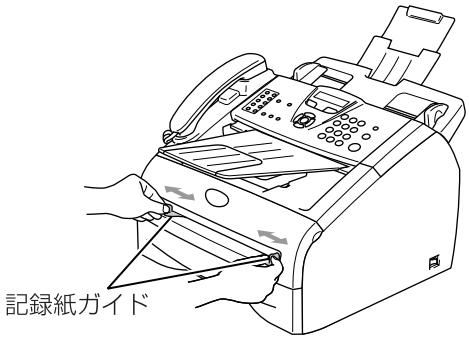
印刷する

1. アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [用紙設定] または [ページ設定] を選択する
2. 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックする
3. アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [プリント] を選択する
4. ダイアログボックスにて [プリント] をクリックすると、印刷を開始する

手差しトレイを使用して印刷する

手差しトレイは、記録紙トレイの上にあります。用紙は一度に一枚ずつ給紙します。記録紙を記録紙トレイから取り出す必要はありません。

1 **記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる**



2 **印刷したい面を上にして記録紙を手差しトレイへセットする**

カチッと音がして用紙の先端が少し引きこまれるまで保持します。

3 **アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [用紙設定] または [ページ設定] を選択する**

4 **用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックする**

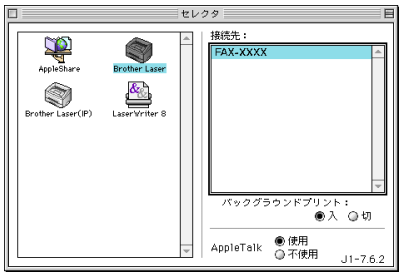
5 **アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [プリント] を選択する**

6 **ダイアログボックスにて [プリント] をクリックすると、印刷を開始する**

液晶ディスプレイがオレンジ色に点灯して印刷を開始します。
印刷した記録紙を本製品が排出したら、手順 2 にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

プリンタドライバの設定をする（Mac OS® 9.1～9.2）

1 アップルメニューより [セレクタ] を選択する

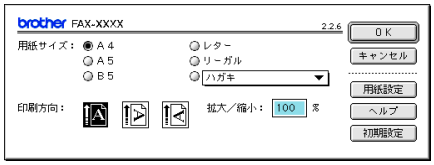


2 Brother Laser アイコンをクリックする（アイコンの色が強調表示されます）
セレクタの右の欄にあるご使用のプリンタ名をクリックしてからセレクタを閉じる

3 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [用紙設定] を選択する

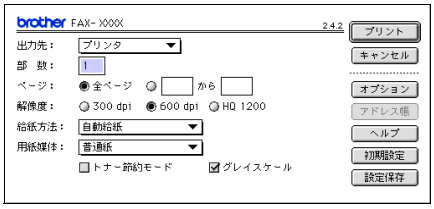
以下の項目が設定できます。
- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 拡大/縮小

設定が終わったら、[OK] をクリックする



4 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [プリント] を選択する

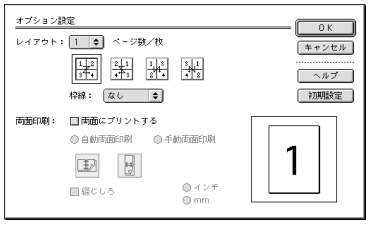
以下の項目が設定できます。
- 部数　　• 用紙媒体
- ページ　• トナー節約モード
- 解像度　• グレースケール
- 給紙方法
- [オプション]をクリックすると、レイアウト指定と両面印刷指定ができます。



5 [オプション] をクリックする

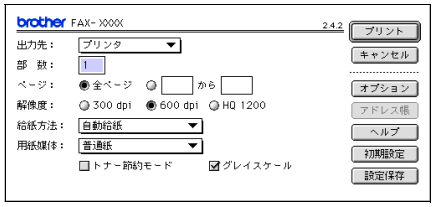
以下の項目が設定できます。
- レイアウト（1 枚への印刷ページ、印刷順、枠線の有無）

設定が終わったら、[OK] をクリックする



6 [プリント] をクリックする

印刷が開始されます。



プリンタドライバの設定をする（Mac OS® X 10.2.4以降）

補足

プリンタドライバで設定できる項目は、基本的に同じです。ただし、お使いのOSのバージョンによっては利用できない項目があります。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［対象プリンタ］を選択する**
［フォーマット］がご使用のモデルになっていることを確認する

以下の項目が設定できます。
- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大/縮小

設定が終わったら、[OK] をクリックする

2 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する**
［プリンタ］がご使用のモデルになっていることを確認する

以下の項目が設定できます。

①印刷部数と印刷ページ
- 部数
- ページ

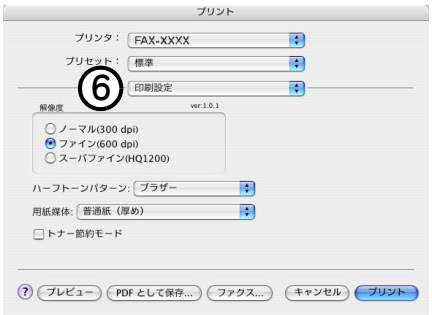
②レイアウト
- ページ数／枚
- レイアウト方向
- 枠線

③出力オプション
- ファイルとして保存

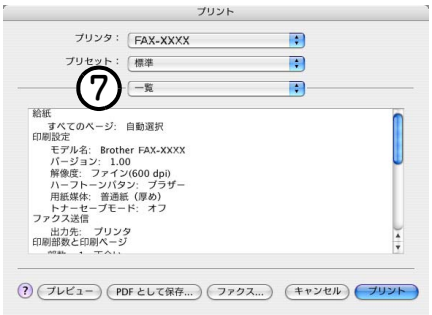
④用紙処理
- ページの順序を逆にする
- プリント

⑤給紙
- 給紙方法

⑥印刷設定
- 印字品質
- 用紙媒体
- トナー節約モード



⑦一覧



3 ［プリント］をクリックする

印刷が開始されます。

Macintosh®編

2章

リモートセットアップ

■ リモートセットアップについて 63
リモートセットアップを起動する 63
■ リモートセットアップ設定内容 64
ボタンの説明 64
設定できる項目 65

注意

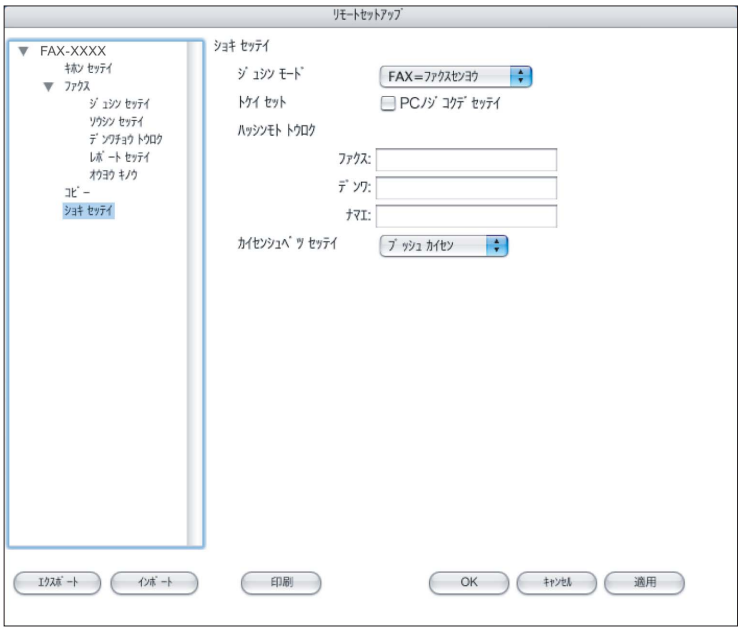
Mac OS® 9.1 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をMacintosh®で簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、[Macintosh HD]－[ライブラリ]－[Printers]－[Brother]－[Utilities]から[Remote Setup]アイコンをダブルクリックします。



リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）P.162を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にMacintosh®にダウンロードされ、画面上に表示されます。

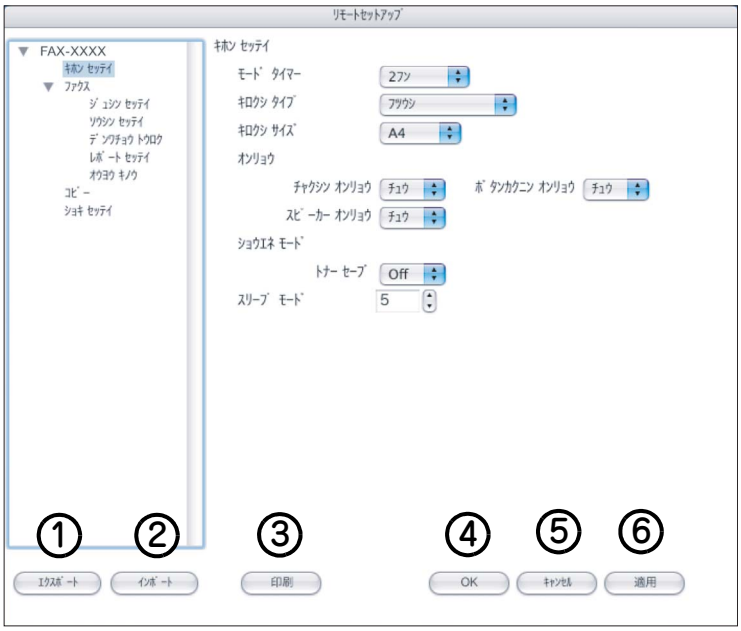
補足

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのMacintosh®にBrotherドライバ＆ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイド「STEP2　パソコンに接続する」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- ウィルスバスターなどのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「設定内容リスト」が印刷できます。（◇ユーザーズガイド（印刷版）P.114と同じリストが印刷できます）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、
[適用]をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷]をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK]をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	–	○
	トケイ　セット	–	○
	ハッシンモト　トウロク	ファクス／デンワ／ナマエ	○
	カイセンシュベツ　セッテイ	–	○
	ダイヤルトーン　セッテイ	–	×
	トクベツカイセン　タイオウ	–	×
	ナンバー　ディスプレイ	–	×
	コジンジョウホウ　ショウキョ	–	×
	キノウセッテイ　リセット	–	×
	ヒョウジ　ゲンゴ	–	×
キホン　セッテイ	モード　タイマー	–	○
	キロクシ　タイプ	–	○
	キロクシ　サイズ	–	○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ ボタンカクニン　オンリョウ スピーカー　オンリョウ ジュワ　オンリョウ	○ ○ ○ ○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ スリープ　モード	○ ○
	ガメンノ　コントラスト	–	×
	セキュリティ	セキュリティソウサロック セキュリティセッテイロック	× ×
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ サイヨビダシ　カイスウ シンセツ　ジュシン リモート　ジュシン ジドウ　シュクショウ インサツ　ノウド ポーリング　ジュシン	○ ○ ○ ○ ○ ○ ×

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリング　ソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ／ワンタッチ	○
		デンワチョウ／タンシュク	○
		デンワチョウ／グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カンカク	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウメモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ダイヤルセイゲン　キノウ	チョクセツ　ニュウリョク	○
		ワンタッチダイヤル	○
		タンシュクダイヤル	○
	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	コントラスト	－	○
レポート　インサツ	ソウシン　レポート	－	×
	キノウアンナイ	－	×
	デンワチョウ　リスト	－	×
	ツウシン　カンリ　レポート	－	×
	セッテイナイヨウ　リスト	－	×
	チャクシンリレキ　リスト	－	×
	ゴチュウモン　シート	－	×
セイヒン　ジョウホウ	シリアル　No.	－	×
	インサツマイスウ　ヒョウジ	－	×
	ドラム　ジュミョウ	－	×

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド（印刷版）P.162 を参照してください。

Macintosh®編

3章

PC-FAX

■ PC-FAXを使用する 68
Mac OS® 9.1～9.2環境上のアプリケーションからファクスを送る 68
Mac OS® X 10.2.4以降の環境上のアプリケーションからファクスを送る 70
■ PC-FAXアドレス帳を利用する 71
PC-FAXアドレス帳に相手先を登録する（Mac OS® 9.1～9.2）..... 71
グループダイヤルに相手先を登録する（Mac OS® 9.1～9.2）..... 72
アドレスブックから送信先を設定する（Mac OS® X 10.2.4以降）..... 73

PC-FAXを使用する

PC-FAXを利用すると、Macintosh®上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信することができます。あらかじめ、PC-FAXのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、アドレス帳を呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足

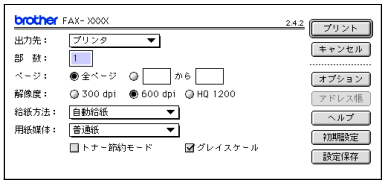
- Mac OS® Xへの対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のサイトを参照してください。
  http://solutions.brother.co.jp/
- PC-FAXは、モノクロのみ対応しています。

Mac OS® 9.1～9.2環境上のアプリケーションからファクスを送る

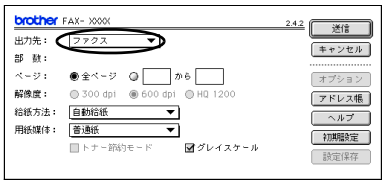
1 **Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成する**

2 **[ファイル] メニューから [プリント] を選択する**

プリントダイアログが表示されます。

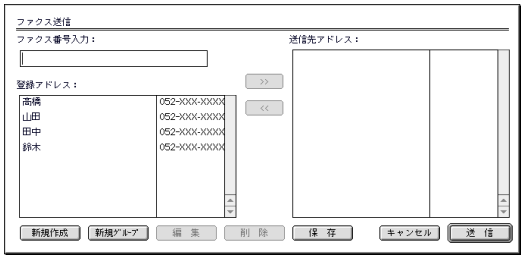


3 **[出力先] から [ファクス] を選択する**



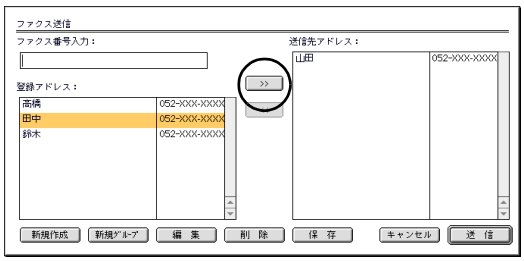
4 **[送信] をクリックする**

[ファクス送信] ダイアログが表示されます。左のボックスには保存されているファクス番号リスト、右のボックスには送信先のファクス番号がそれぞれ表示されます。



5 **ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する**
または、ファクス番号リストボックスから名前またはファクス番号を選択して [>>] をクリックする

ファクスの受信者ボックスに宛先が表示されます。



6 **[送信] をクリックする**

ファクス送信が開始されます。

補足

- 手順5で、［Shift］キーを押しながら送信する相手先を選択すると、複数の宛先を一度に指定できます。
- 手順4の画面で、［新規作成］をクリックすると、新しい宛先をアドレス帳に追加することができます。また、［新規グループ］をクリックすると新しいグループを登録できます。詳しくは、P.72 を参照してください。

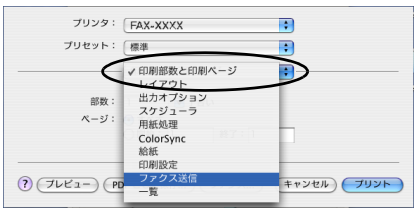
Mac OS® X 10.2.4以降の環境上のアプリケーションからファクスを送る

1 Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成する

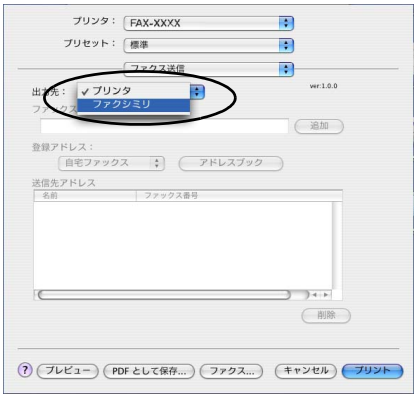
2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択する

プリントダイアログが表示されます。

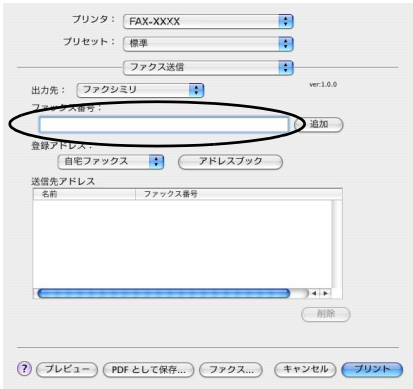
3 プルダウンメニューから [ファクス送信] を選択する



4 [出力先] プルダウンメニューから [ファクシミリ] を選択する



5 ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する



6 [プリント] をクリックする

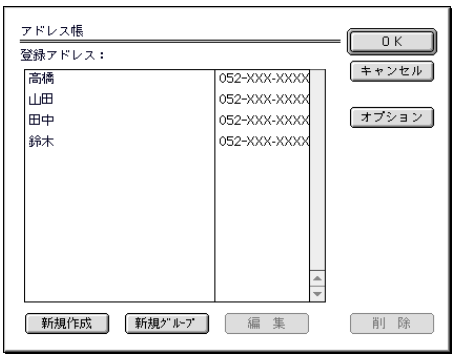
ファクス送信が開始されます。

PC-FAXアドレス帳を利用する

PC-FAXアドレス帳に相手先を登録する（Mac OS® 9.1～9.2）

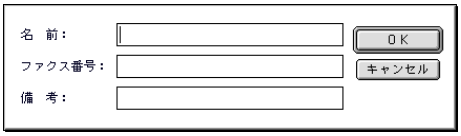
1 **[ファクス] ダイアログの [アドレス帳] をクリックする**

[アドレス帳] ダイアログボックスが表示されます。



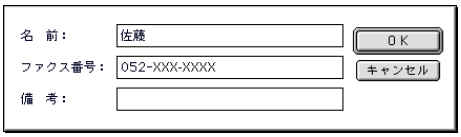
2 **[新規作成] をクリックする**

右のダイアログボックスが表示されます。



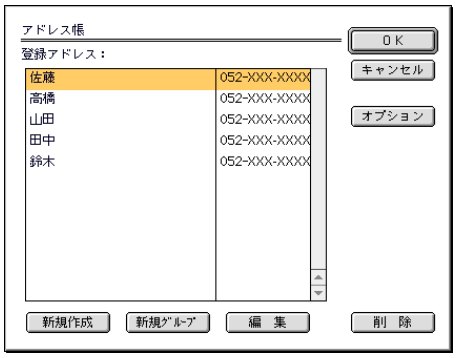
3 **名前とファクス番号を入力する**

メモ欄にはひらがなで 10 文字まで、数字で 20 文字までの入力が可能です。



4 **[OK] をクリックする**

[アドレス帳] ダイアログボックスに戻ります。



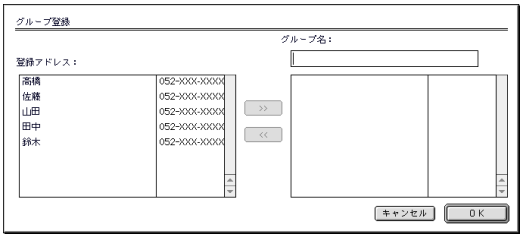
補足

ファクスの宛先を指定している途中でも新しい宛先やグループを登録できます。

グループダイヤルに相手先を登録する（Mac OS® 9.1～9.2）

1 **[新規グループ] をクリックする**

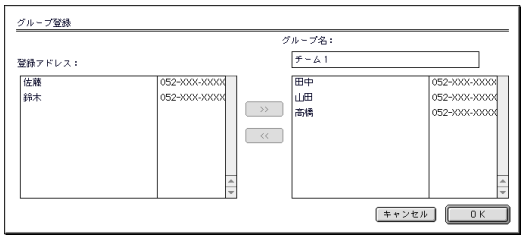
[グループ登録] ダイアログボックスが表示されます。



2 **グループ名欄にグループ名を入力する**

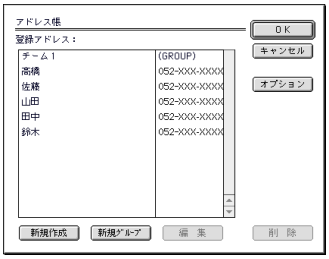
3 **ファクス番号リストで目的の名前を指定し [>>] をクリックする**

指定した名前はグループ名欄の下に表示されます。



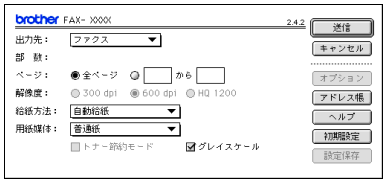
4 **[OK] をクリックする**

[アドレス帳] ダイアログボックスが表示されます。



5 **[OK] をクリックする**

[ファクス] ダイアログボックスが再び表示されます。



6 **ファクスを送信する準備ができたら [送信] をクリックする**

補足

ファクスの送信手順については P.68 を参照してください。

アドレスブックから送信先を設定する（Mac OS® X 10.2.4以降）

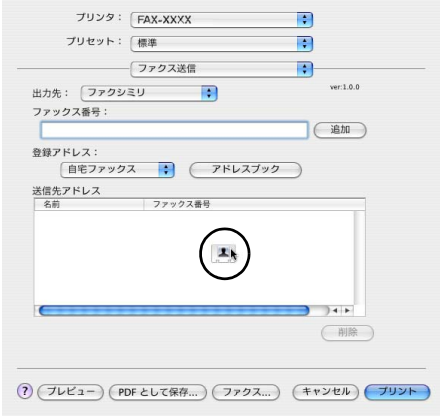
アドレスブックからvCardをドラッグすることで送信先を設定することができます。

1 **[アドレスブック] をクリックする**

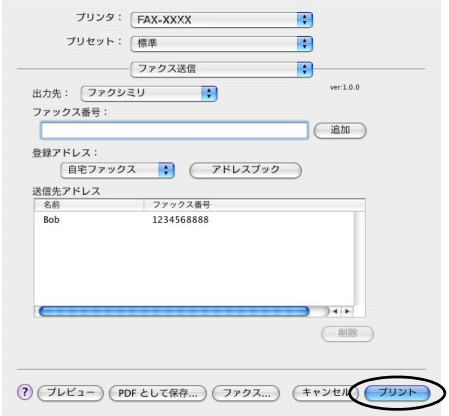
アドレスブックが起動します。

2 **アドレスブックから vCard を [送信先アドレス] までドラッグする**

[送信先アドレス] に番号が表示されます。



3 **ファクス送信先の設定が完了したら、[プリント] をクリックする**



注意

■vCardは自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで vCard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。vCard内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

付　録

■ エラーメッセージが表示されたとき 75
■ 故障かな？と思ったときは 75
■ 動作環境 76
Windows® 76
Macintosh® 78
■ 索　引 79

エラーメッセージが表示されたとき

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、◇ユーザーズガイド（印刷版）P.144 を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、◇ユーザーズガイド（印刷版）P.147 を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行っても問題が解決しないときは、お客様相談窓口へ連絡してください。

動作環境

Windows®

本製品とコンピュータを接続してお使いいただくには、以下のコンピュータ環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Windows® 98/98SE/Me
  32ビット（x86）プロセッサ
  32MB（推奨128MB）以上のシステムメモリ
- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows NT® 4.0（SP6以降）
  32ビット（x86)プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ

補足
上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional
  460MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0
パラレル

補足

- USBケーブル、パラレルケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブル、パラレルケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- Hi-Speed USB 2.0対応のパソコンでもご使用いただけますが、12Mbit/secのFull-Speedモードでの接続になります。
- Windows® 2000/XP/XP x64 Edition、Windows Vista®を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

Macintosh®

本製品とMacintosh®を接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
サポートサイト（http://solutions.brother.co.jp/）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/メモリー

Mac OS® 9.1～9.2/32MB（推奨64MB）以上
Mac OS® X 10.2.4～10.4.3/128MB（推奨256MB）以上
Mac OS® X 10.4.4以降/512MB（推奨1GB）以上

CPU

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3、Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz
Mac OS® X 10.4.4以降、Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor

ディスク容量

280MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

USB

補足

- USBケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® X 10.2をお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

索　引

数字

600 × 600dpi 出力 11, 56

I

IEEE1284 11

O

OHP フィルム 11, 56

P

PC-FAX 40

U

USB 11, 56

い

印刷する 12, 57

え

エラーメッセージが表示されたときは 75

こ

故障かな？と思ったときは 75
困ったときには 75

そ

双方向パラレルインターフェース 11

て

手差しトレイ 13, 58

は

ハイスピード印刷 11, 56

ふ

普通紙 11, 56
プリンタとして使用する前に 11, 56
プリンタとしての特長 11, 56

り

リモートセットアップ 33, 63